

白山庁舎アトリウム改修工事

図名リスト	
改修工事	
A-1	改修工事特記仕様書 1
A-2	改修工事特記仕様書 2
A-3	附近見取図、配置図、仕上表
A-4	改修前平面図、屋根伏図
A-5	改修後平面図、屋根伏図
A-6	改修前立面図
A-7	改修後立面図
A-8	改修前、後 矩計図
A-9	改修前、後 天井伏図
A-10	改修前、後 アトリウム断面図
A-11	改修前、後 小壁詳細図
A-12	改修後立面詳細図
A-13	改修前、後 屋根伏図
A-14	雑詳細図
A-15	改修前、後 屋上機械室 平面図
A-16	改修前アトリウム屋根伏図 1
A-17	改修前アトリウム屋根伏図 2
A-18	改修前、後 梁伏図
A-19	南面排煙窓建具表
A-20	北面排煙窓建具表
A-21	排煙垂壁詳細図
A-22	仮設計画図 1 <参考図>
A-23	仮設計画図 2 <参考図>
A-24	仮設計画図 3 <参考図>
E-1	電気設備 改修 平面図、屋根伏図

③ 防水改修工事	⑥ シーリング (3.7.2) (表3.7.1)	材料	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ SR-1</td> <td>シリコン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ MS-2</td> <td>変成シリコン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ PS-2</td> <td>ポリサルファイド系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ PU-2</td> <td>ポリウレタン系</td> <td></td> </tr> </table>	種類	材種	施工箇所	・ SR-1	シリコン系		○ MS-2	変成シリコン系		・ PS-2	ポリサルファイド系		・ PU-2	ポリウレタン系													
	種類	材種	施工箇所																											
・ SR-1	シリコン系																													
○ MS-2	変成シリコン系																													
・ PS-2	ポリサルファイド系																													
・ PU-2	ポリウレタン系																													
(3.7.4~7)	工法	<ul style="list-style-type: none"> ○ シーリング充填工法 ○ シーリング再充填工法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 																												
(3.7.8)	シーリング材の試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ○ 行わない 																												
(3.8.2) (表3.8.1) (表3.8.2)	⑦ とい	材種 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・ 配管用鋼管 (白管) ・ ()																												
	といの受金物及び足金物	<table border="1"> <tr> <th>といの材種</th> <th>形状</th> <th>取付け間隔</th> </tr> <tr> <td>軒とい</td> <td>120°角</td> <td>図示 A-2</td> </tr> <tr> <td>壁とい</td> <td>100φ</td> <td>図示 A-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	といの材種	形状	取付け間隔	軒とい	120°角	図示 A-2	壁とい	100φ	図示 A-2																			
といの材種	形状	取付け間隔																												
軒とい	120°角	図示 A-2																												
壁とい	100φ	図示 A-2																												
	工法	・ 図示 (図面番号:)																												
⑥ 内装改修工事	⑤ 軽量鉄骨天井 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)	野縁等の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋内 ○ 19形 ・ () ○ 屋外 ○ 25形 ・ () 																											
	(6.6.4)	形式及び寸法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 屋外 ・ 図示 (図面番号: A-8、A-14) ・ 耐震天井 ・ 図示 (図面番号:) ・ ふところ≧3.0m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(8) ・ 図示 (図面番号:) 																											
	① 2	既存埋込みインサート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用する ○ 使用しない (※使用する場合は、確認試験を行う) 																											
		既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行う (図示 (図面番号:)) ・ 行わない ・ 確認試験の箇所数 (箇所) ・ 確認強度 () 																											
		耐震性・耐風圧性を考慮した補強	・ 図示 (図面番号:)																											
		材料	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ せっこうボード</td> <td rowspan="2"></td> <td>壁</td> <td>・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 化粧せっこうボード</td> <td rowspan="2">・ トラバーチン模様</td> <td>・ 9.5(不燃)</td> <td>・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 木目模様</td> <td>・ 9.5(不燃)</td> <td>・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ロックウール化粧吸音板</td> <td rowspan="2">・ 普通</td> <td>・ 9()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 立体模様</td> <td>・ 9()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>○ けい酸カルシウム板</td> <td>○ タイプII 0.8FK</td> <td>○ 6</td> <td></td> </tr> </table>	材種	種別	厚さ(mm)	・ せっこうボード		壁	・ 9.5(準不燃)	天井	・ 9.5(準不燃)	・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様	・ 9.5(不燃)	・ 9.5(準不燃)	・ 木目模様	・ 9.5(不燃)	・ 9.5(準不燃)	・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9()	・ ()	・ 立体模様	・ 9()	・ ()	○ けい酸カルシウム板	○ タイプII 0.8FK	○ 6	
材種	種別	厚さ(mm)																												
・ せっこうボード		壁	・ 9.5(準不燃)																											
		天井	・ 9.5(準不燃)																											
・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様	・ 9.5(不燃)	・ 9.5(準不燃)																											
		・ 木目模様	・ 9.5(不燃)	・ 9.5(準不燃)																										
・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9()	・ ()																											
		・ 立体模様	・ 9()	・ ()																										
○ けい酸カルシウム板	○ タイプII 0.8FK	○ 6																												
(6.13.2) (表6.13.1)	合板類の張付け	・ A種	・ B種																											
(6.13.3)(4)(7) (表6.13.5)	① 0	せっこうボードの目地工法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継目処理 ・ 突付け ・ 目隠し 																											

⑦ 塗装改修工事	1 材料 (7.1.3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:) 																																							
	2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1) ~ (表7.2.7)	<p>既存塗膜の除去範囲 (塗り替えてR種の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) 																																							
	種別	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <td>・ 木部</td> <td></td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td></td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ 垂鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ モルタル、プラスター面</td> <td></td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、ALCパネル面</td> <td></td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ せっこうボード、その他ボード面</td> <td></td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> </tr> </table>	種別	下地	種別	ひび割れ部の補修	・ 木部		・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 鉄鋼面		・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 垂鉛めっき鋼面		・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ モルタル、プラスター面		・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ コンクリート、ALCパネル面		・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ せっこうボード、その他ボード面		・ RA種	・ RB種	・ RC種
種別	下地	種別	ひび割れ部の補修																																						
・ 木部		・ RA種	・ RB種	・ RC種																																					
・ 鉄鋼面		・ RA種	・ RB種	・ RC種																																					
・ 垂鉛めっき鋼面		・ RA種	・ RB種	・ RC種																																					
・ モルタル、プラスター面		・ RA種	・ RB種	・ RC種																																					
・ コンクリート、ALCパネル面		・ RA種	・ RB種	・ RC種																																					
・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ RA種	・ RB種	・ RC種																																					
・ せっこうボード、その他ボード面		・ RA種	・ RB種	・ RC種																																					
③ 素地ごしらえ (7.3.1~7.3.7) (表7.3.1) ~ (表7.3.7)	種別	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>・ 木部</td> <td></td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>○ 鉄鋼面</td> <td></td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>○ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 垂鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ モルタル、プラスター面</td> <td></td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、ALCパネル面</td> <td></td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>○ せっこうボード、その他ボード面</td> <td></td> <td>・ A種</td> <td>○ B種</td> </tr> </table>	種別	下地	種別	・ 木部		・ A種	・ B種	○ 鉄鋼面		・ A種	・ B種	○ C種	・ 垂鉛めっき鋼面		・ A種	・ B種	・ モルタル、プラスター面		・ A種	・ B種	・ コンクリート、ALCパネル面		・ A種	・ B種	・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ A種	・ B種	○ せっこうボード、その他ボード面		・ A種	○ B種							
種別	下地	種別																																							
・ 木部		・ A種	・ B種																																						
○ 鉄鋼面		・ A種	・ B種	○ C種																																					
・ 垂鉛めっき鋼面		・ A種	・ B種																																						
・ モルタル、プラスター面		・ A種	・ B種																																						
・ コンクリート、ALCパネル面		・ A種	・ B種																																						
・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ A種	・ B種																																						
○ せっこうボード、その他ボード面		・ A種	○ B種																																						
④ 錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3) (表7.4.3) ~ (表7.4.5)	錆止め塗料種別	鉄鋼面 ○ A種 ・ B種																																							
	垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																							
	錆止め塗料塗り種別	鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種																																							
	垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																							
⑤ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) (7.5.3~7.5.4) (表7.5.1) ~ (表7.5.3)	塗料種別	・ 1種 ・ ()																																							
	種別	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>・ 木部</td> <td></td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td></td> <td>・ A種</td> <td>○ B種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 垂鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> </tr> </table>	種別	下地	種別	・ 木部		・ A種	・ B種	・ C種	・ 鉄鋼面		・ A種	○ B種	・ C種	・ 垂鉛めっき鋼面		・ A種	・ B種	・ C種																					
種別	下地	種別																																							
・ 木部		・ A種	・ B種	・ C種																																					
・ 鉄鋼面		・ A種	○ B種	・ C種																																					
・ 垂鉛めっき鋼面		・ A種	・ B種	・ C種																																					
6 クリヤラッカー塗り(OL) (7.6.2) (表7.6.1)	種別	木部 ・ A種 ・ B種																																							
7 アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別	・ A種 ・ B種																																							
8 耐候性塗料塗り(DP) (7.8.2) ~ (7.8.4) (表7.8.1) ~ (表7.8.3)	上塗り等級	・ 1級 (フッ素系) ・ 2級 (シリコン系) ・ 3級 (ポリウレタン系)																																							
	種別	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・ A-1種</td> <td>・ A-2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ B-1種</td> <td>・ B-2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ C-1種</td> <td>・ C-2種</td> </tr> </table>	種別	下地	種別	コンクリート面及び押出成形セメント板面		・ A-1種	・ A-2種			・ B-1種	・ B-2種			・ C-1種	・ C-2種																								
種別	下地	種別																																							
コンクリート面及び押出成形セメント板面		・ A-1種	・ A-2種																																						
		・ B-1種	・ B-2種																																						
		・ C-1種	・ C-2種																																						
9 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) (7.9.2) ~ (7.9.5) (表7.9.1) ~ (表7.9.4)	種別	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面</td> <td></td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td>木部 (屋内)</td> <td></td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (屋内)</td> <td></td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面 (屋内)</td> <td></td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> </tr> </table>	種別	下地	種別	コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面		・ A種	・ B種	・ C種	木部 (屋内)		・ A種	・ B種	・ C種	鉄鋼面 (屋内)		・ A種	・ B種	・ C種	垂鉛めっき鋼面 (屋内)		・ A種	・ B種	・ C種																
種別	下地	種別																																							
コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面		・ A種	・ B種	・ C種																																					
木部 (屋内)		・ A種	・ B種	・ C種																																					
鉄鋼面 (屋内)		・ A種	・ B種	・ C種																																					
垂鉛めっき鋼面 (屋内)		・ A種	・ B種	・ C種																																					
① 0 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別	<ul style="list-style-type: none"> ・ A種 ○ B種 ・ C種 																																							
	しみ止め	・ ()																																							
11 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) (7.11.2) (表7.11.1)	種別	<ul style="list-style-type: none"> ・ A種 ・ B種 																																							
	工程1の着色	・ 適用する	・ 適用しない																																						
12 ステイン塗り(OS) (7.12.2) (表7.12.1)	種類	・ ビグメントステイン塗り	・ オイルステイン塗り																																						
	オイルステイン塗りの工程、塗料	・ ()																																							
13 木材保護塗料塗り(WP) (7.13.2) (表7.13.1)	種別	・ A種 ・ B種																																							

⑧ 耐震改修工事 鉄骨工事	① 鉄骨製作工場 (8.1.5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本鉄骨評価センター又は鋼全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J ○ R ・ M ・ H ・ S 																											
	② 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (8.1.6)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工管理技術者 (鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等) の配置 ・ しない ・ する 																											
③ 鋼材 (8.2.8)	種類・形状及び寸法 ○ 図示 (図面番号: A-18)																												
4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)	<ul style="list-style-type: none"> 高力ボルトの適用 ・ トルシア形高力ボルト2種 (S10T) ・ JIS形高力ボルト2種 (F10T) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種 (F8T相当) 																												
	ねじの呼び	・ 図示 (図面番号:)																											
	すべり試験	・ 行う (試験方法等 図示: 図面番号)																											
5 溶接材料 (8.2.10)	JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの5倍を超える場合の回転量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改修標準仕様書(8.2.10)(1)(2)以外の溶接材料 																											
6 仮組 (8.13.10)	仮組の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施する () ・ 実施しない 																											
⑦ 溶接作業を行う技能資格者 (8.15.3)	溶接作業における技能資格者の技量付加試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施する () ○ 実施しない 																											
8 溶接の準備 (8.15.4)	開先の形状	・ 図示 (図面番号:)																											
9 溶接施工 (8.15.7)	鋼製エンドタブの切断	・ 適用箇所 図示 (図面番号:)																											
	切断面の仕上げ	・ ()																											
	鋼製エンドタブに代わるその他の工法	<ul style="list-style-type: none"> 鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ (セラミックタブ又はフラックスタブ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方とも満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。 1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場での製作であること。 2. 製作工場が、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習修了者 (溶接技能者・A級以上) 又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。また、製作工場がH、Sグレードの場合は、溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。 																											
	板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示 (図面番号:) 																											
	スカラップの形状	・ 図示 (図面番号:)																											
10 溶接部の試験 (8.15.12)	溶接部の外観試験	・ 試験方法 ()																											
	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験	・ 確認方法 ()																											
	工場溶接の場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書(令和4年版)(7.6.12)(4)による。 																											
	平均出検品質限界(AOQL)	・ 4.0% ・ 2.5% ・ ()																											
	検査水準	・ 第6水準 ・ ()																											
	ロットの構成	()																											
	工事現場溶接の場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書(令和4年版)(7.6.12)(4)による。 																											
	平均出検品質限界(AOQL)	・ 4.0% ・ ()																											
11 鉄骨の錆止め塗装 (8.17.2) (8.17.4)	鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1) () 種 																											
	耐火被覆材の接着する面の塗装範囲	・ 図示 (図面番号:)																											
	改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1) () 種																												
	耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲	・ 図示 (図面番号:)																											
12 耐火被覆材の種類及び性能 (8.18.2) (8.18.3)	<table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	部位	種類	材料・工法	耐火性能																								
部位	種類	材料・工法	耐火性能																										
	・ 図示 (図面番号:)																												
13 プレース設置工事後の仕上げ (8.22.9)	・ 図示 (図面番号:)																												
14 スタッド (8.2.11)	スタッドの種類	・ ()																											
特記仕様書 (新営)																													
⑬ 屋根及びとい工事	2. 折板葺 (13.3.2) (13.3.3) (表13.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>緊結方法</th> <th>板厚(mm)</th> <th>山高(mm)</th> <th>山ピッチ(mm)</th> <th>耐力区分</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 重ね形</td> <td>○ 0.8</td> <td>○ 90程度</td> <td>○ 200程度</td> <td rowspan="2">・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 0.6</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ はげ締め形</td> <td colspan="3">材種</td> <td rowspan="2">軒先面戸板</td> </tr> <tr> <td>○ 嵌合形 (ボルトレス)</td> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 塗装溶融55%7μミニウム ・ 亜鉛合金めっき鋼板 ○ ガルバリウム鋼板 </td> <td>○ あり</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ なし</td> </tr> </table>	緊結方法	板厚(mm)	山高(mm)	山ピッチ(mm)	耐力区分	・ 重ね形	○ 0.8	○ 90程度	○ 200程度	・ ()	・ 0.6	・ ()		・ はげ締め形	材種			軒先面戸板	○ 嵌合形 (ボルトレス)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塗装溶融55%7μミニウム ・ 亜鉛合金めっき鋼板 ○ ガルバリウム鋼板 		○ あり					・ なし
	緊結方法	板厚(mm)	山高(mm)	山ピッチ(mm)	耐力区分																								
・ 重ね形	○ 0.8	○ 90程度	○ 200程度	・ ()																									
	・ 0.6	・ ()																											
・ はげ締め形	材種			軒先面戸板																									
	○ 嵌合形 (ボルトレス)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塗装溶融55%7μミニウム ・ 亜鉛合金めっき鋼板 ○ ガルバリウム鋼板 			○ あり																								
				・ なし																									
	タクトレーム 材料	○ 溶融亜鉛メッキ品																											
	断熱材 種別	・ ガラス繊維シート	・ (ホリエフノフォーム)																										
	厚さ	・ 5mm	○ (4)mm																										
	防火性能	○ (30分耐火)																											
	風圧力に対応した工法	・ 図示 (図面番号:)																											
	積雪荷重に対応した工法	・ 図示 (図面番号:)																											
	けらば納め	○ けらば包み	・ ()																										

■memo

■check
client
architect
contractor

■scale

■drawing title

改修工事特記仕様書 2

■project title

白山庁舎アトリウム改修工事

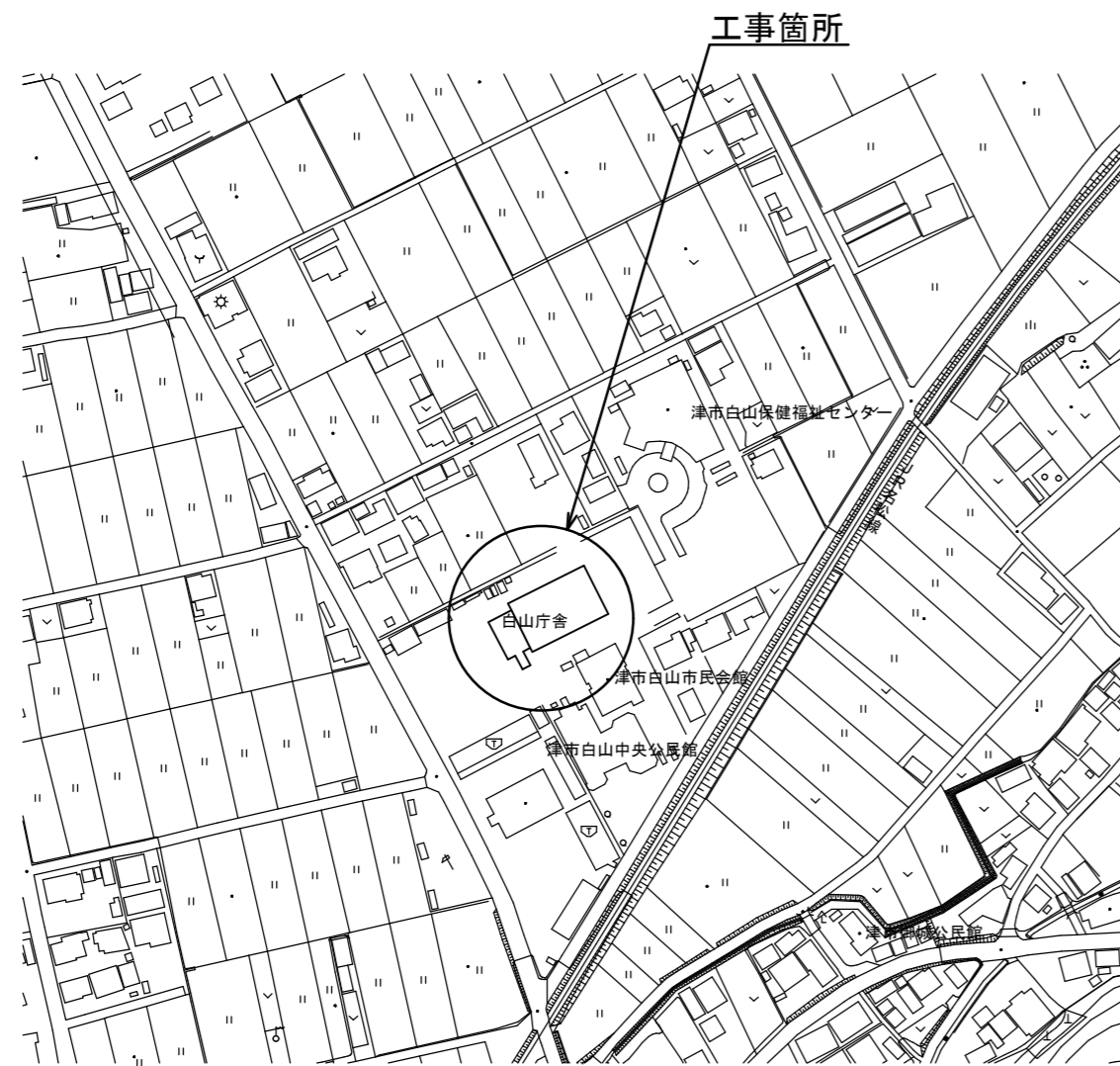
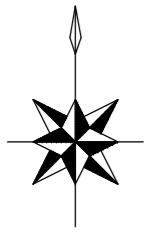
■drawing no.

■sheet no.

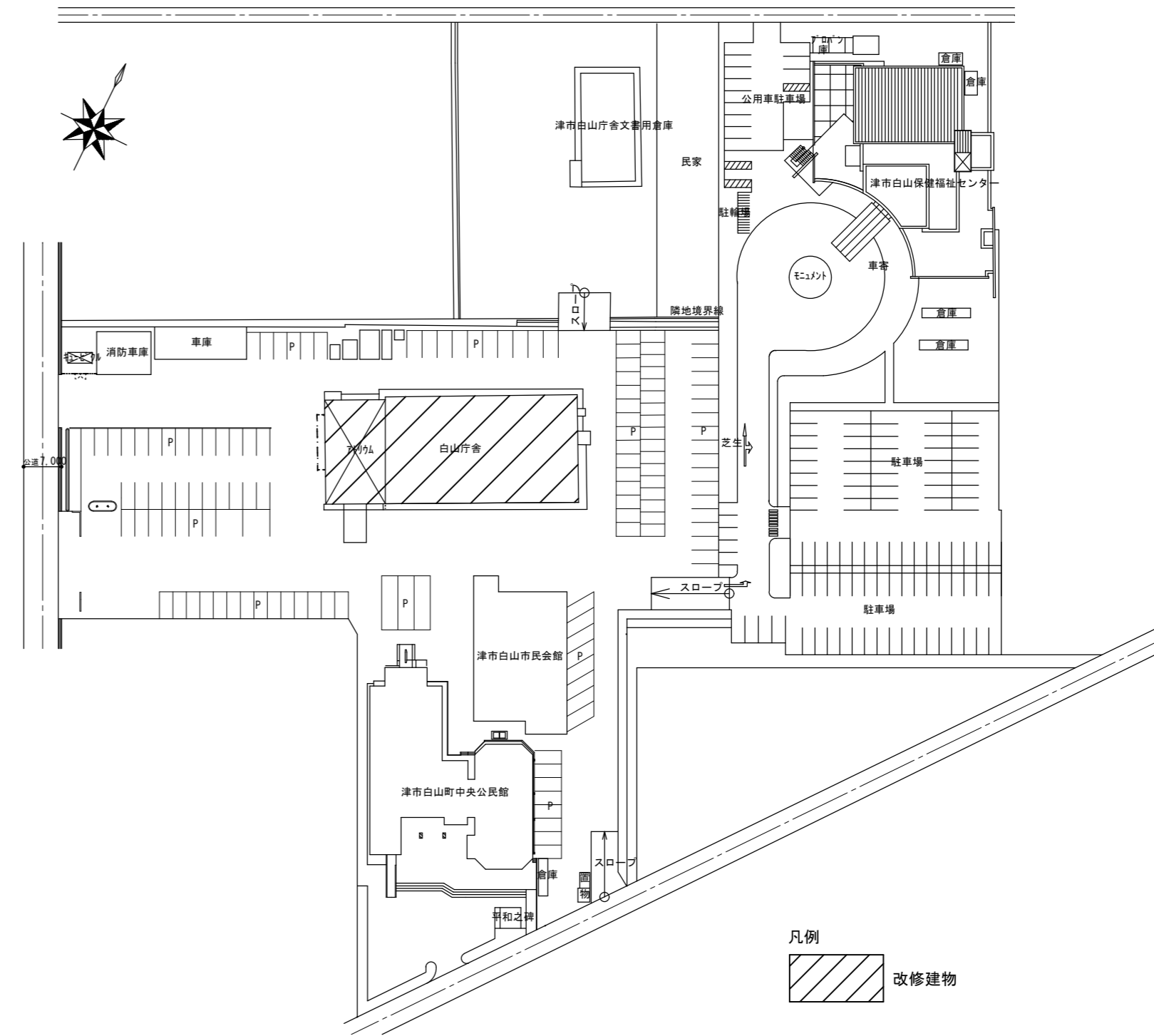
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

A-2
原図: A2



附近見取り図



配置図 S=1/1000

(7トリウム棟)外部仕上表					
屋根	改修前	立体トラス屋根：6.8網入磨板硝子（アルミ枠ガasket接合）撤去	根廻り	改修前	外装磁器質モザイクタイル張り（50mm二丁）
	改修後	折板屋根：嵌合折版 @600 H=85 カラーガルバリウム鋼板 t=0.8 裏面：発泡ポリエチレンフォーム t=4		改修後	
軒裏	改修前	軒天：6mmケイカル板目透張 可とう形外装薄塗材E 撤去	建具	改修前	アルミサッシ、アルミカーテンウォール
	改修後	6mmケイカル板張（LGS下地） EP塗 廻り縁アルミF見切 アルミ下端笠木 W=75		改修後	
小壁	改修前	6.8網入磨板硝子（アルミ枠ガasket接合）撤去	犬走り	改修前	モルタル金ゴテ押え
	改修後	角波サイディングS@750 H=20 カラーガルバリウム鋼板 t=0.5		改修後	
外壁	改修前	押出成形セメント板 タイルパネル 板厚71 外装磁器質モザイクタイル張り（50mm二丁）	その他	改修前	
	改修後			改修後	
樋	改修前	軒樋：塩ビカー角型 200角撤去 縦樋：塩ビカーVP φ100 撤去	改修前		
	改修後	軒樋：カー塩ビ120角 ステンレス受け金物@1000以内 縦樋：カー塩ビ100φ 掘り金物SUS@1200内外	改修後		

(7トリウム棟)内部仕上表 ※特記なき限り全て既設のまま								
階数	室名	床	巾木	壁	天井	廻り縁	天井高	備考
1階	7トリウム	改修前	御影石 パーナー（一部磨き）仕上 400×400 張り	黒系御影石（本磨き仕上げ）100×20	押出成形セメント板 t=26 コンクリート打放し調	スチール鋼板t1.2 焼付塗装 目透し 吹抜 立体トラス 6.8網入磨板硝子（ガasket接合）遮光幕（ウレタン） 撤去 撤去		
		改修後						
吹抜 一部2階	7トリウム	改修前	ビニル床シート t=2.5		押出成形セメント板 t=26 コンクリート打放し調	立体トラス 6.8網入磨板硝子（ガasket接合）撤去 遮光幕（ウレタン）撤去		
		改修後				折板屋根：嵌合折版 @600 H=85 カラーガルバリウム鋼板 t=0.8 裏面：発泡ポリエチレンフォーム t=4 表し		

memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1:1000

drawing title
附近見取り図、配置図、仕上表

project title
白山庁舎アトリウム改修工事

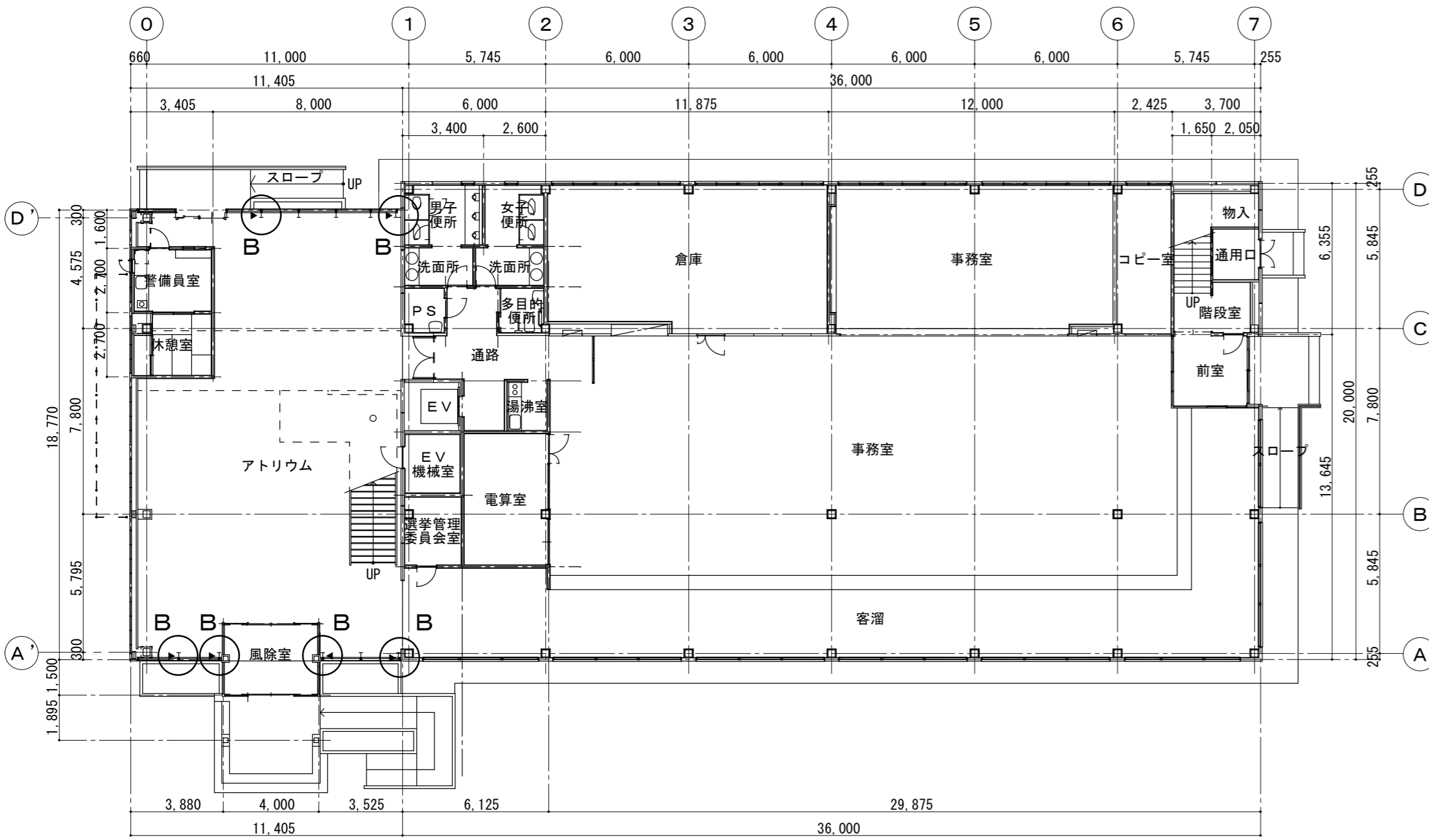
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士：山田 賢治

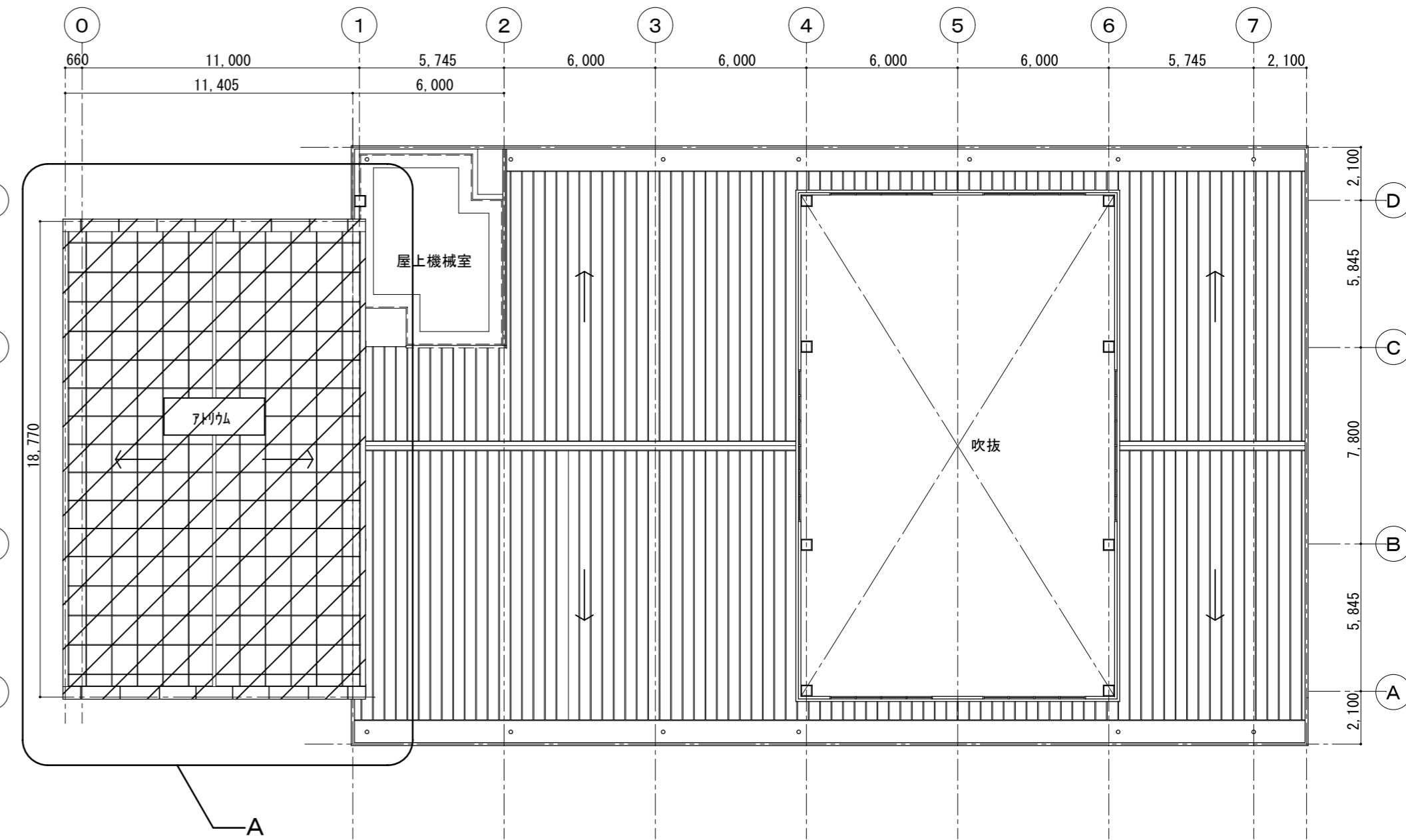
drawing no.

sheet no.

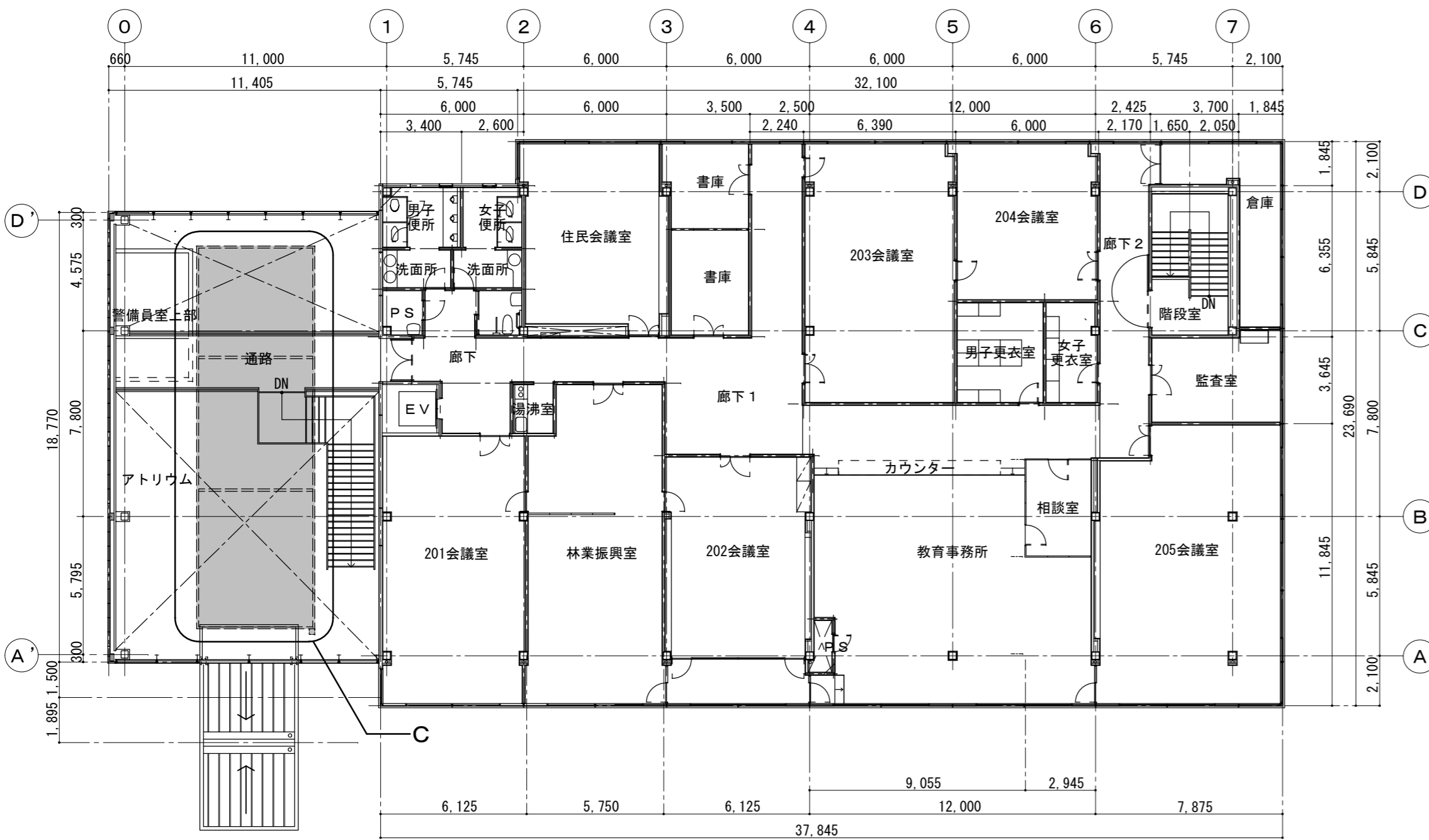
A-3
原図：A2



1階平面図 S=1/200

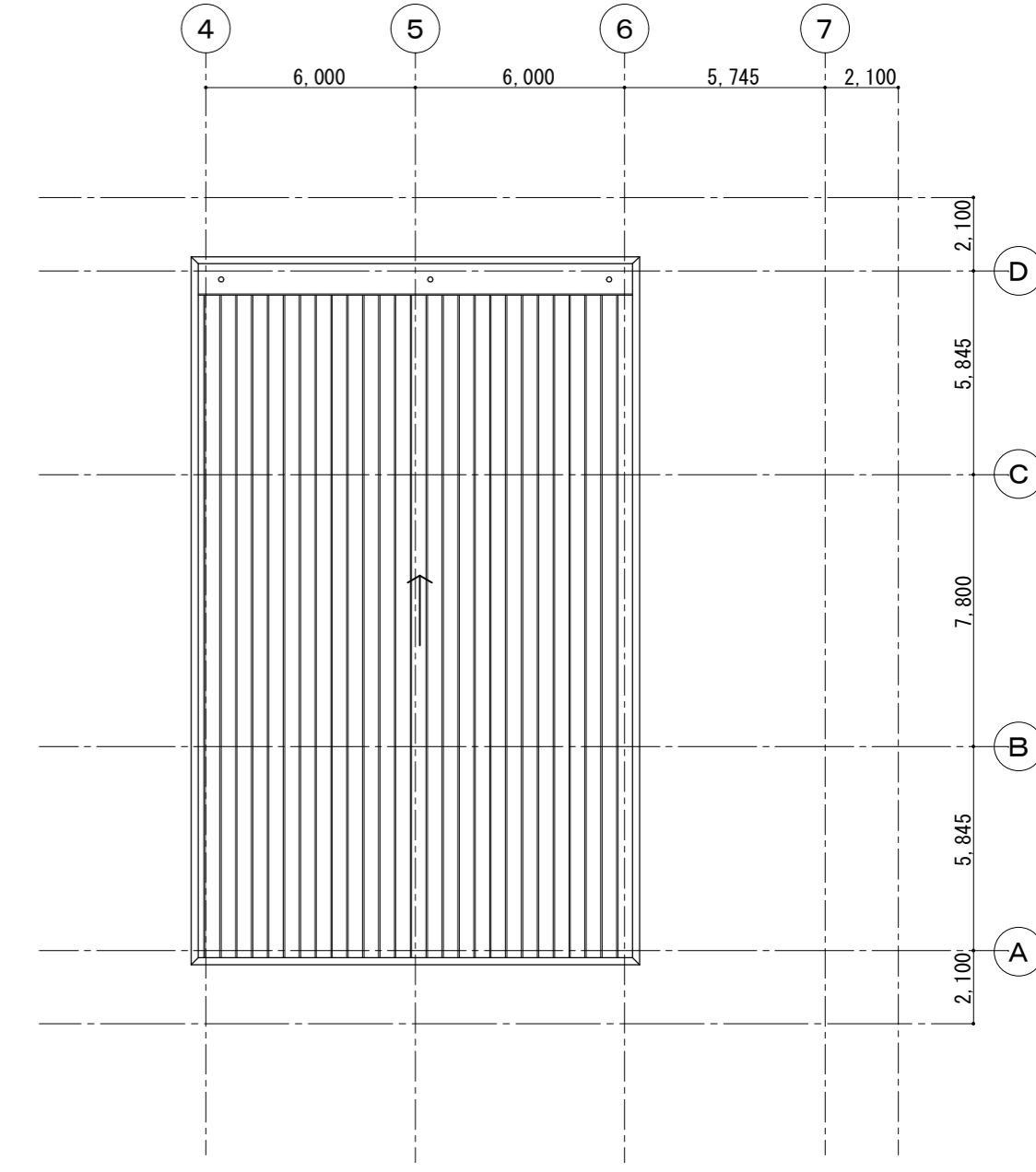


屋根伏図 S=1/200

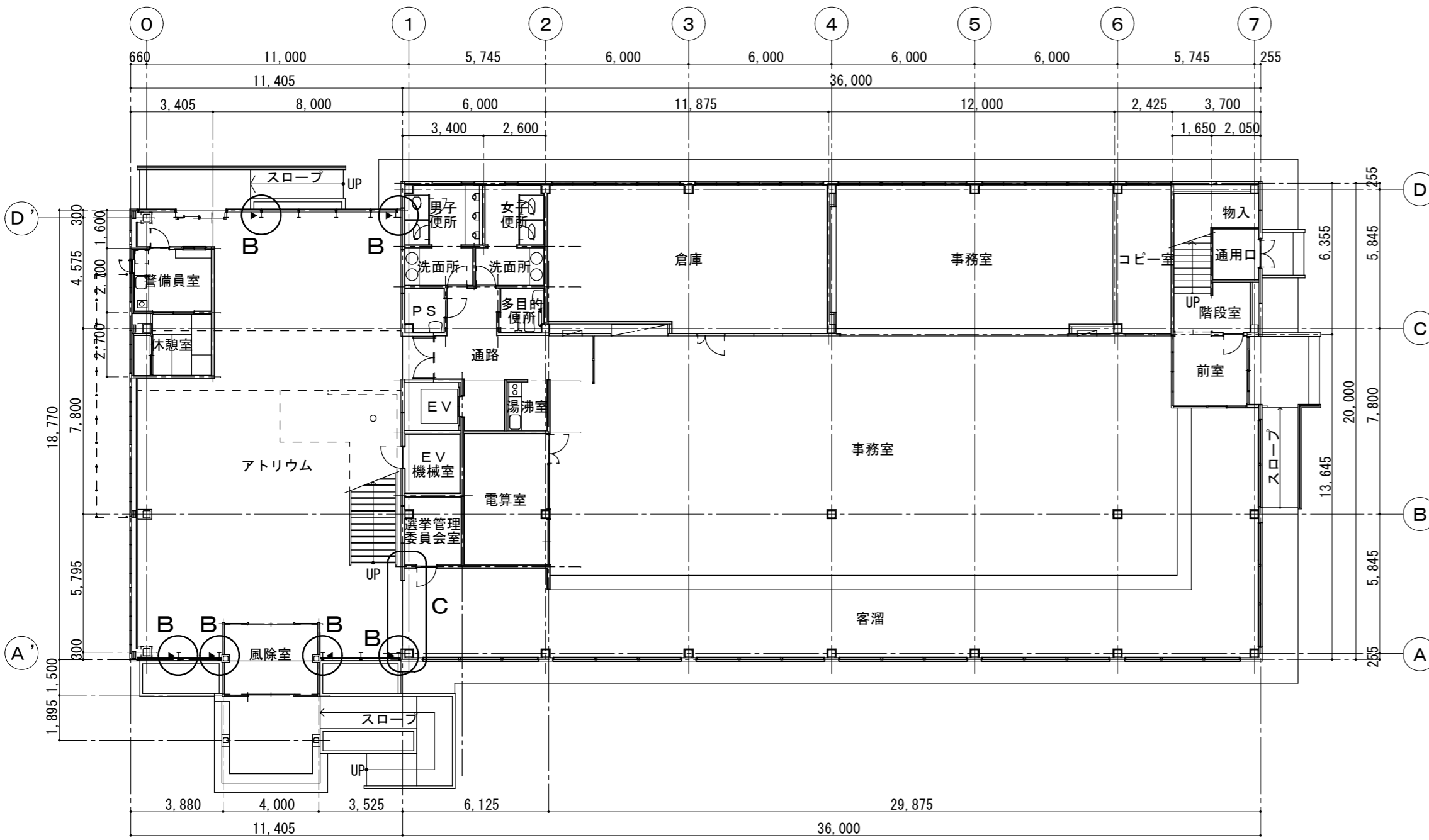


2階平面図 S=1/200

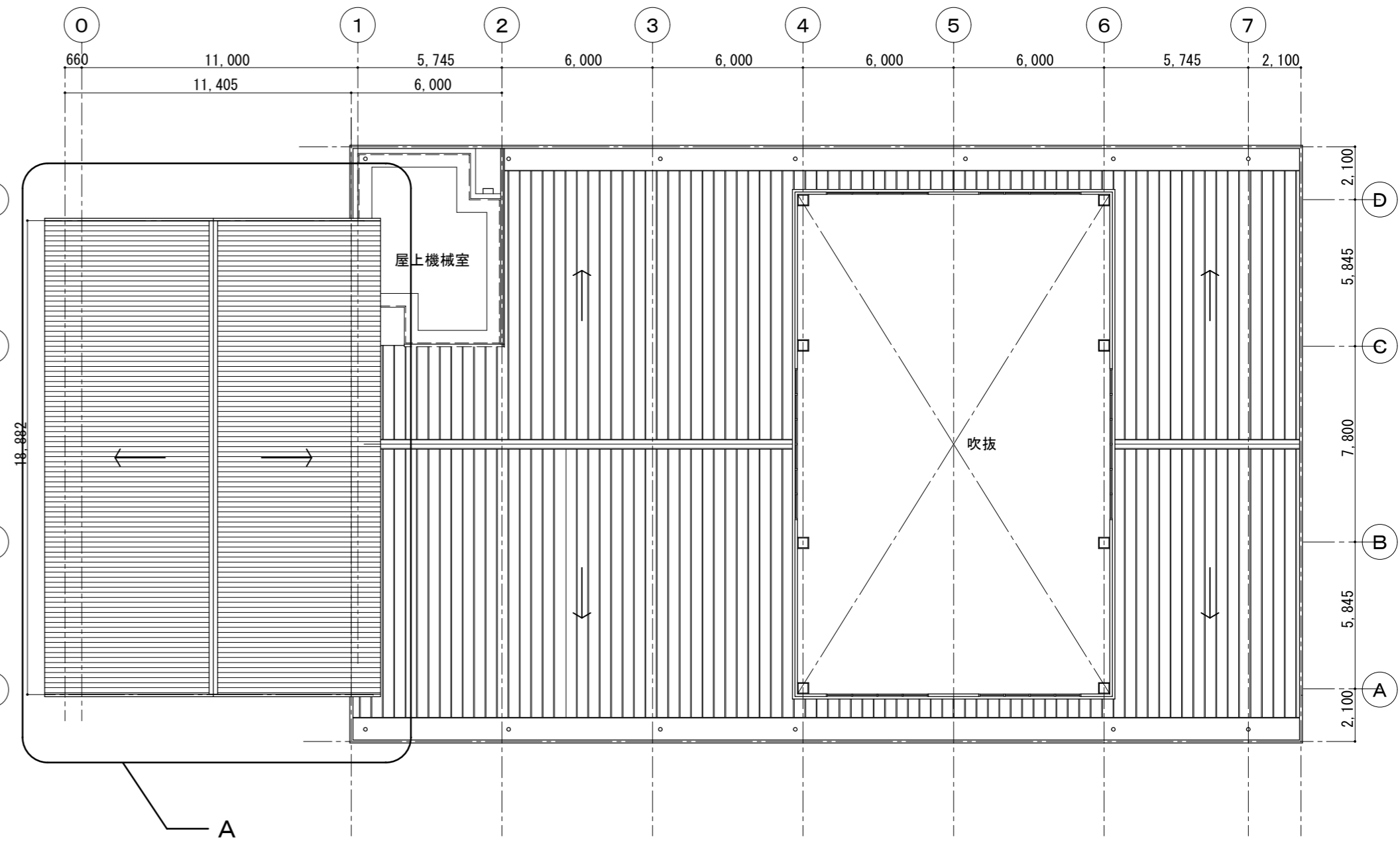
撤去工事箇所	
A	屋根撤去
B	排煙ハレータ部品撤去 南、北面排煙窓建具参照
C	天井部 遮光幕 (枠、モーターユニット共) 撤去



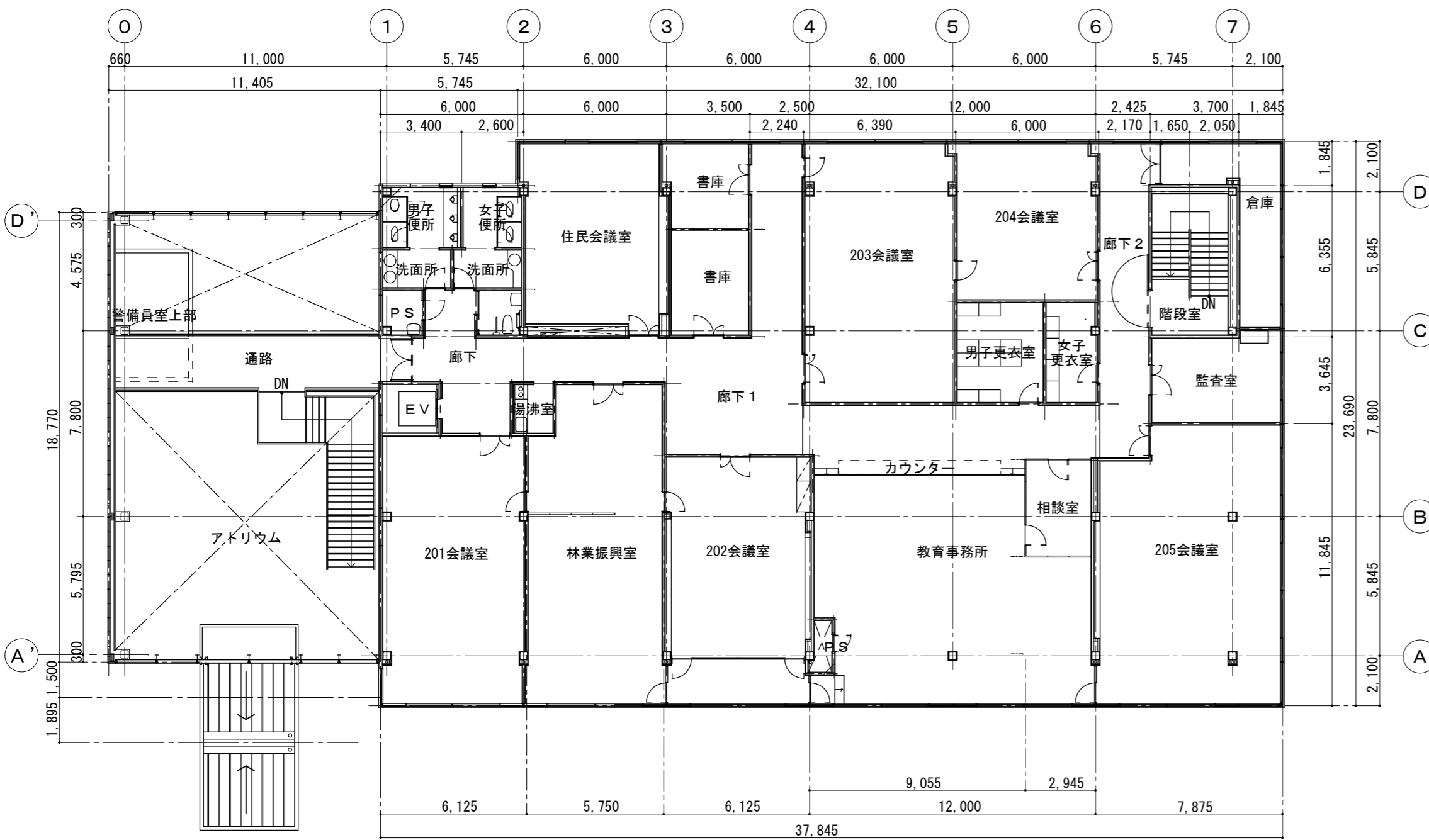
吹抜屋根伏図 S=1/200



1階平面図 S=1/200

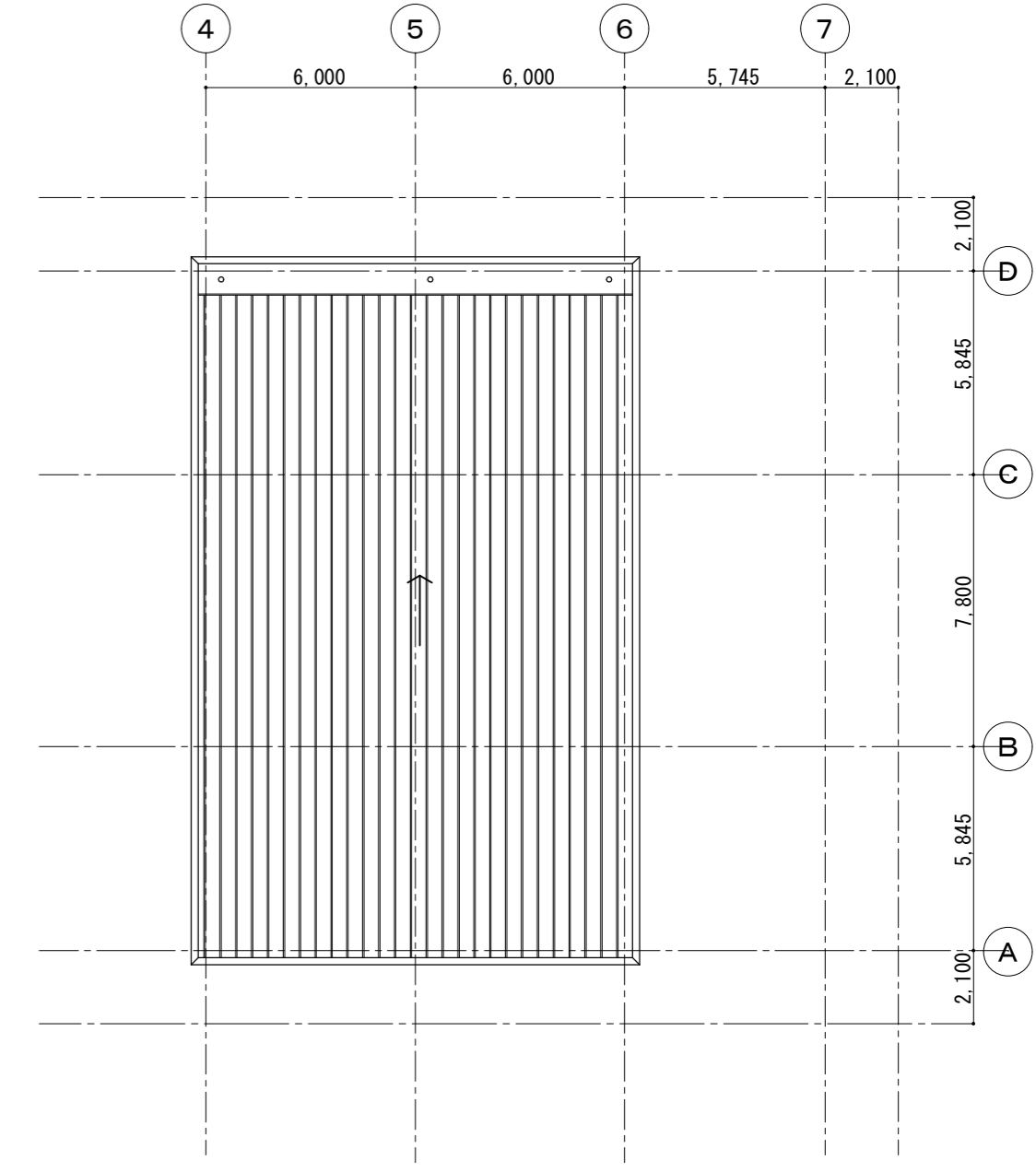


屋根伏図 S=1/200

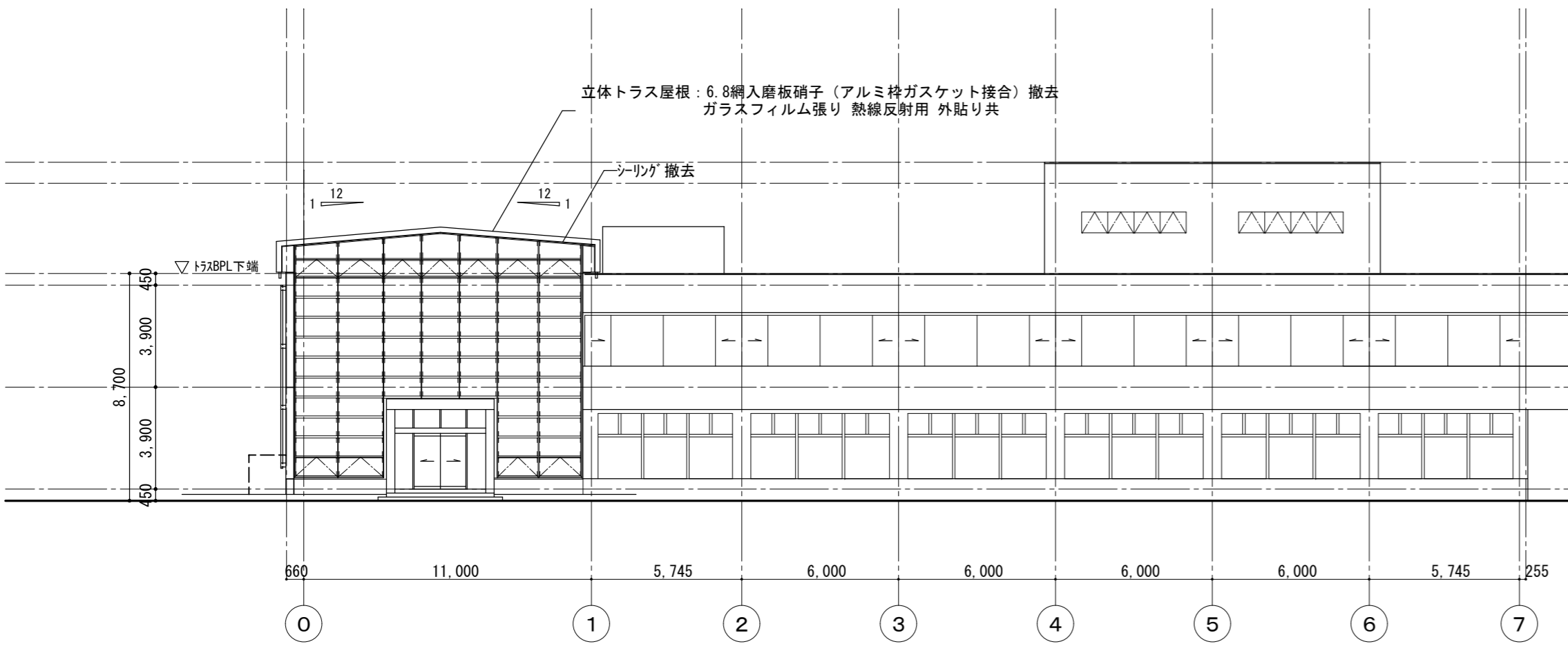


2階平面図 S=1/200

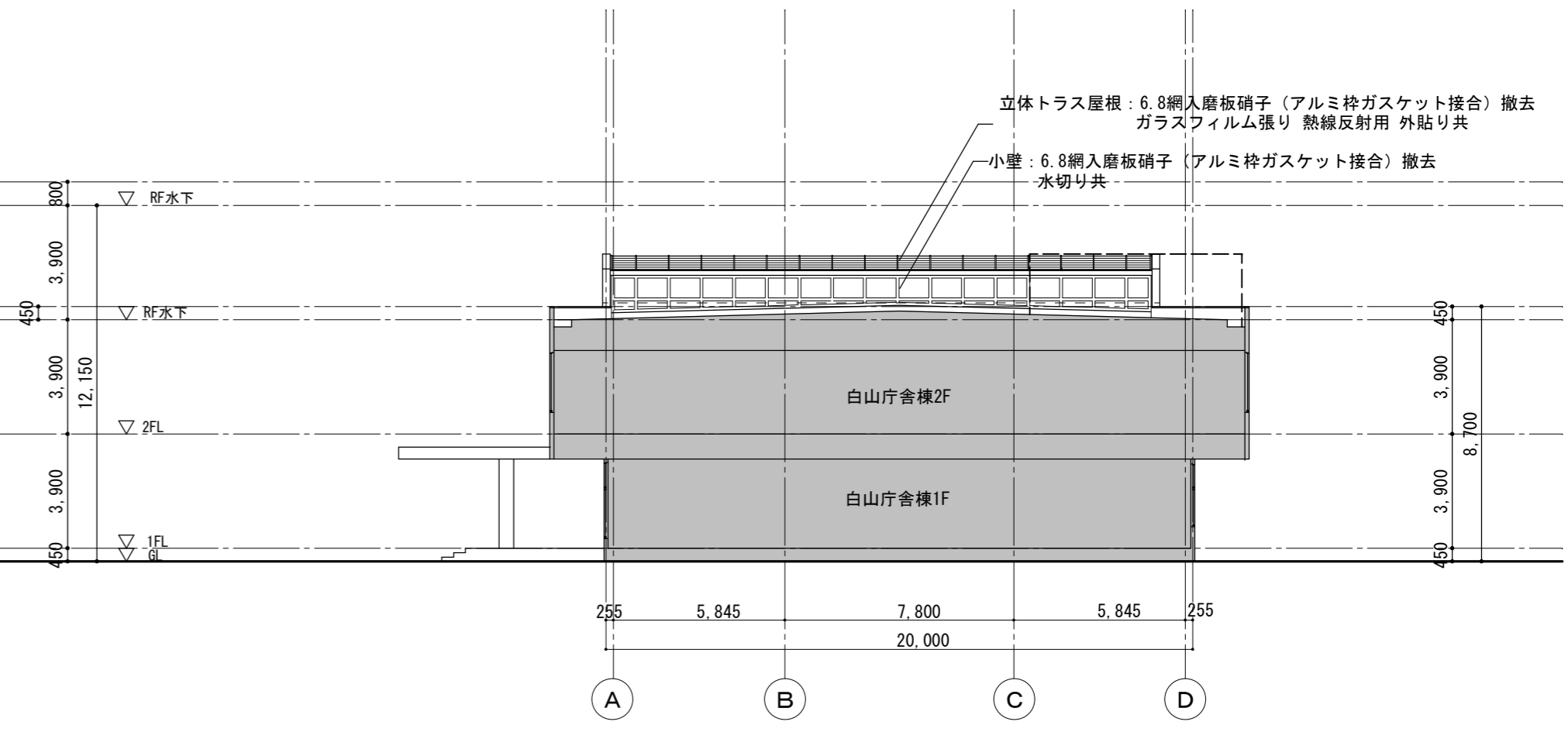
改修工事箇所	
A	折板屋根 新設
B	排煙ハレーター 一部部品 新設
C	排煙垂壁 新設



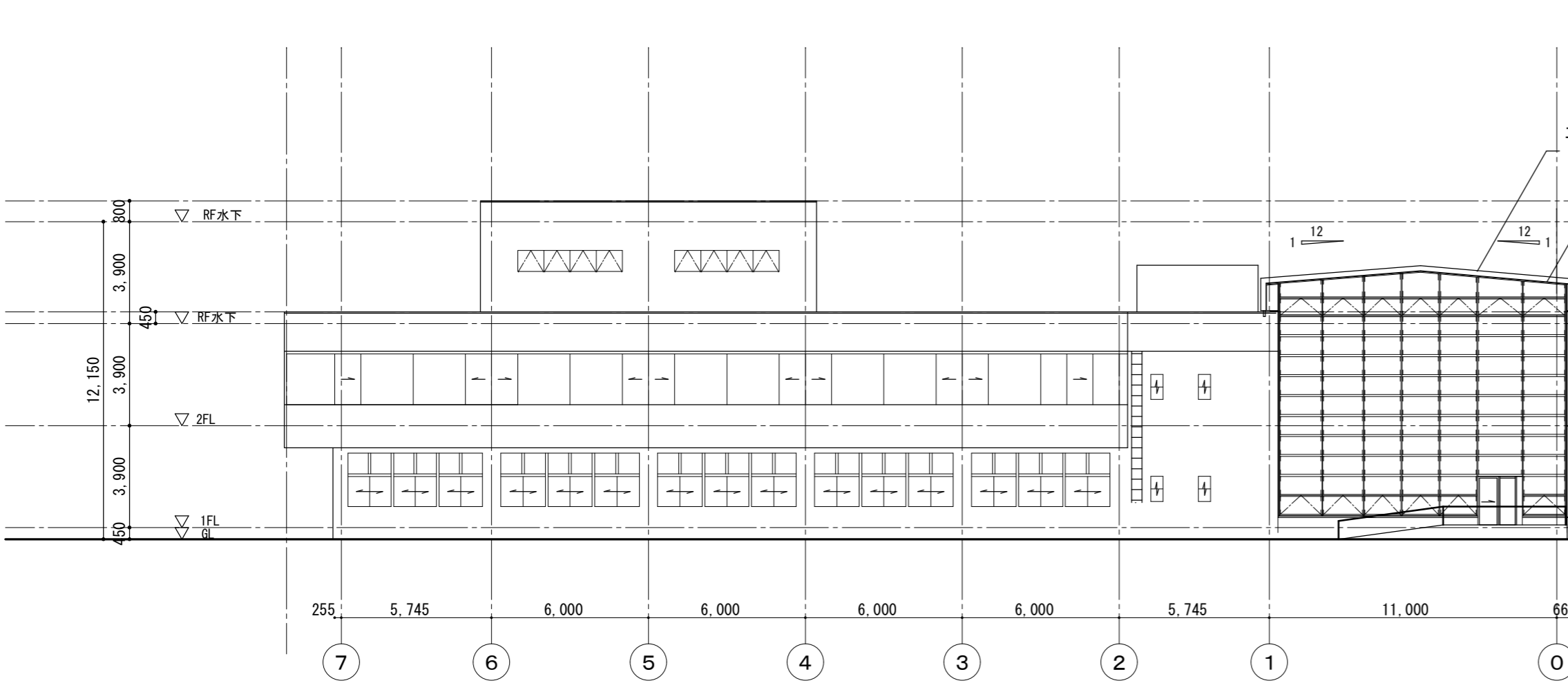
吹抜屋根伏図 S=1/200



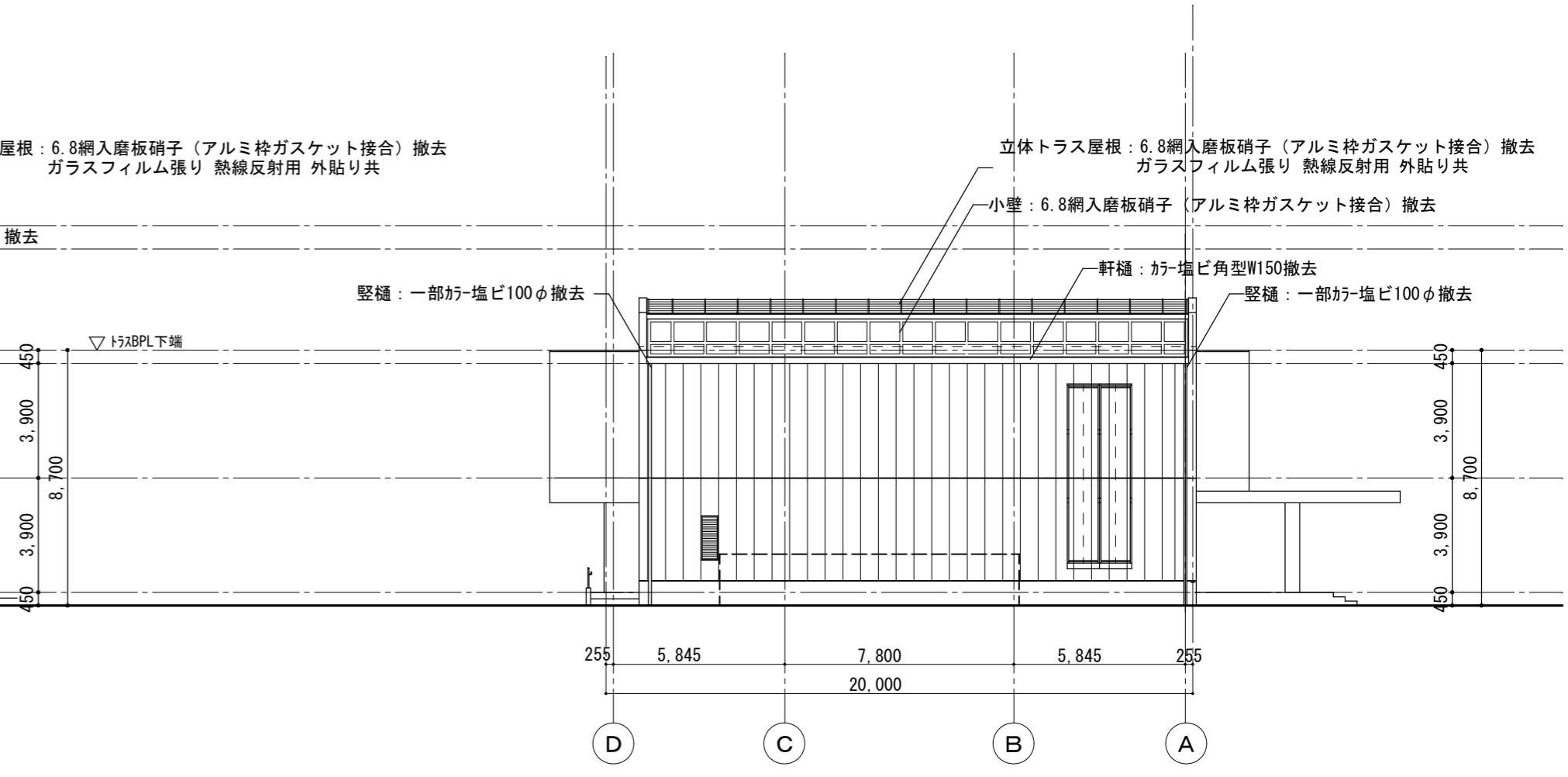
南立面図 S=1/200



東立面図 S=1/200



北立面図 S=1/200



西立面図 S=1/200

memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1:200

drawing title
改修前立面図

project title
白山庁舎アトリウム改修工事

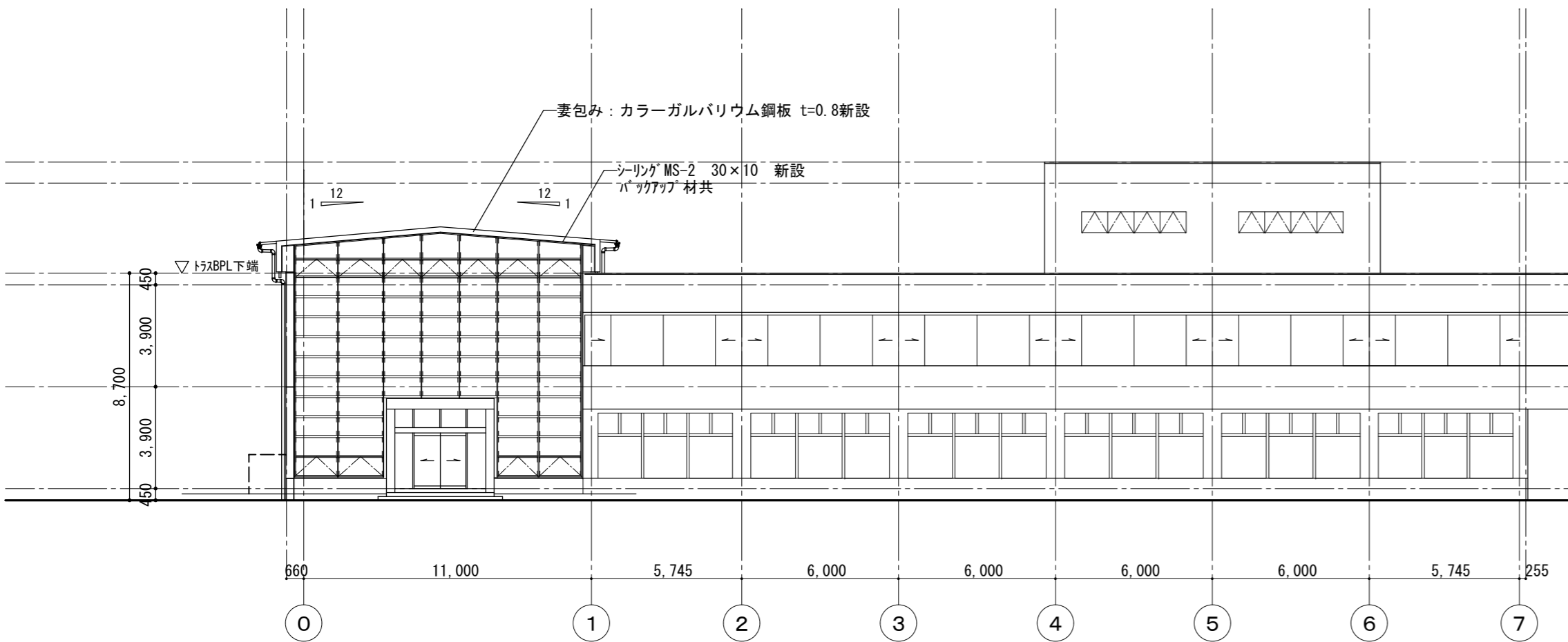
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

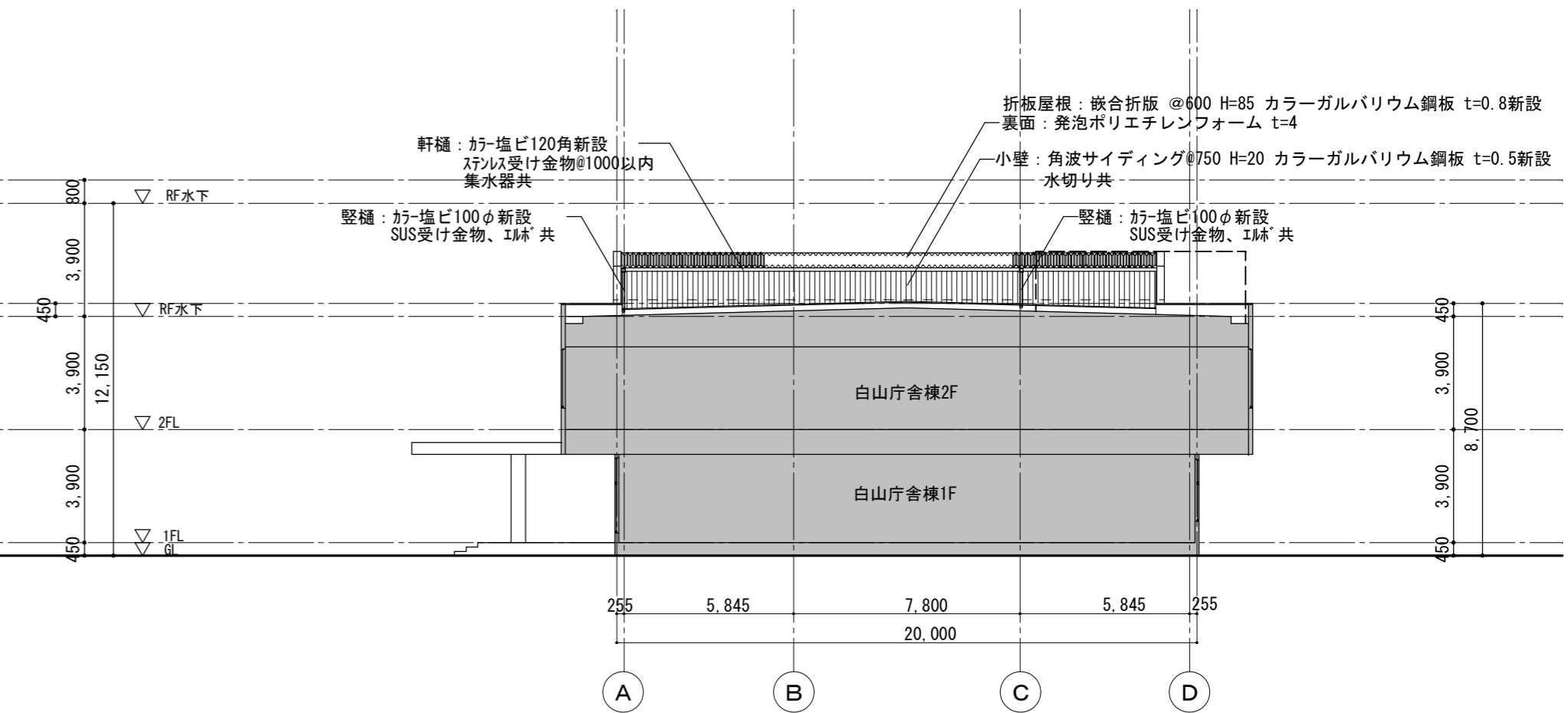
drawing no.

sheet no.

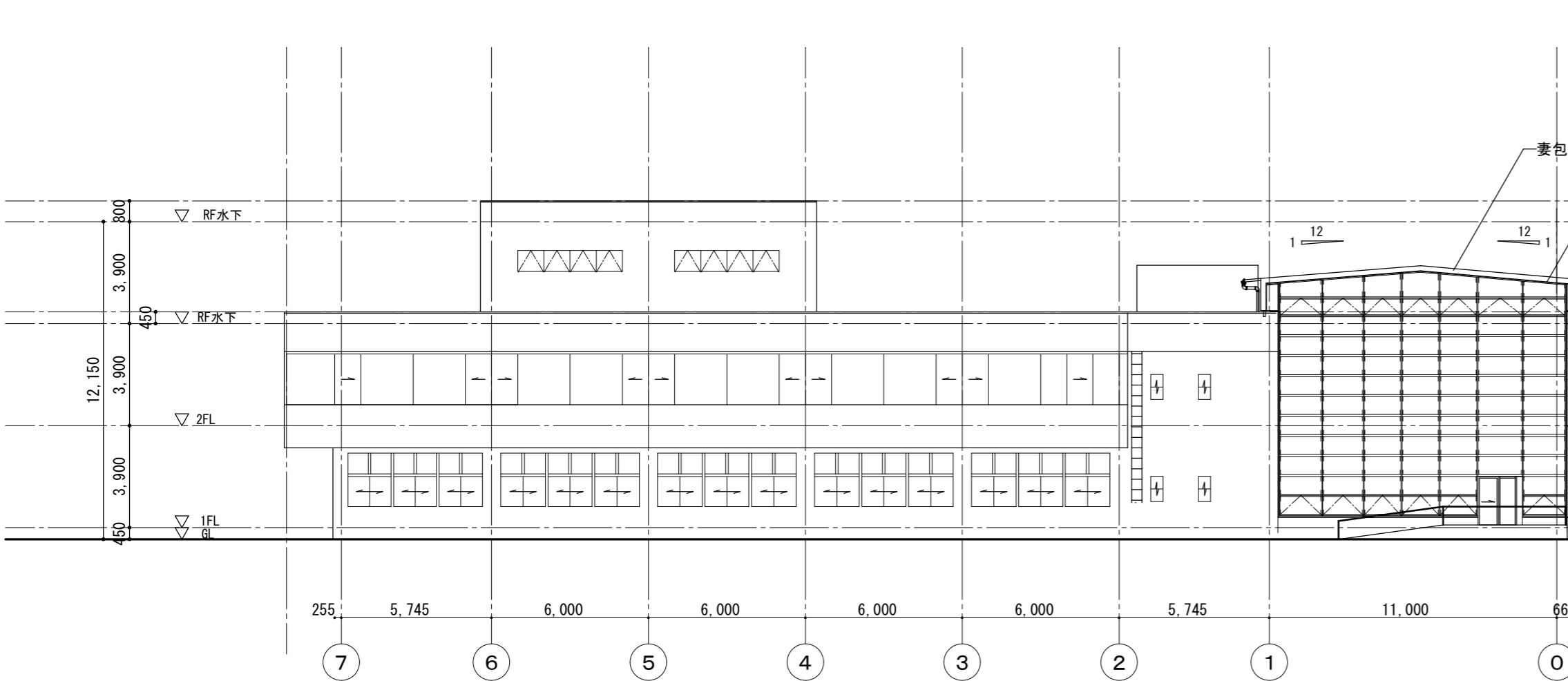
A-6
原図: A2



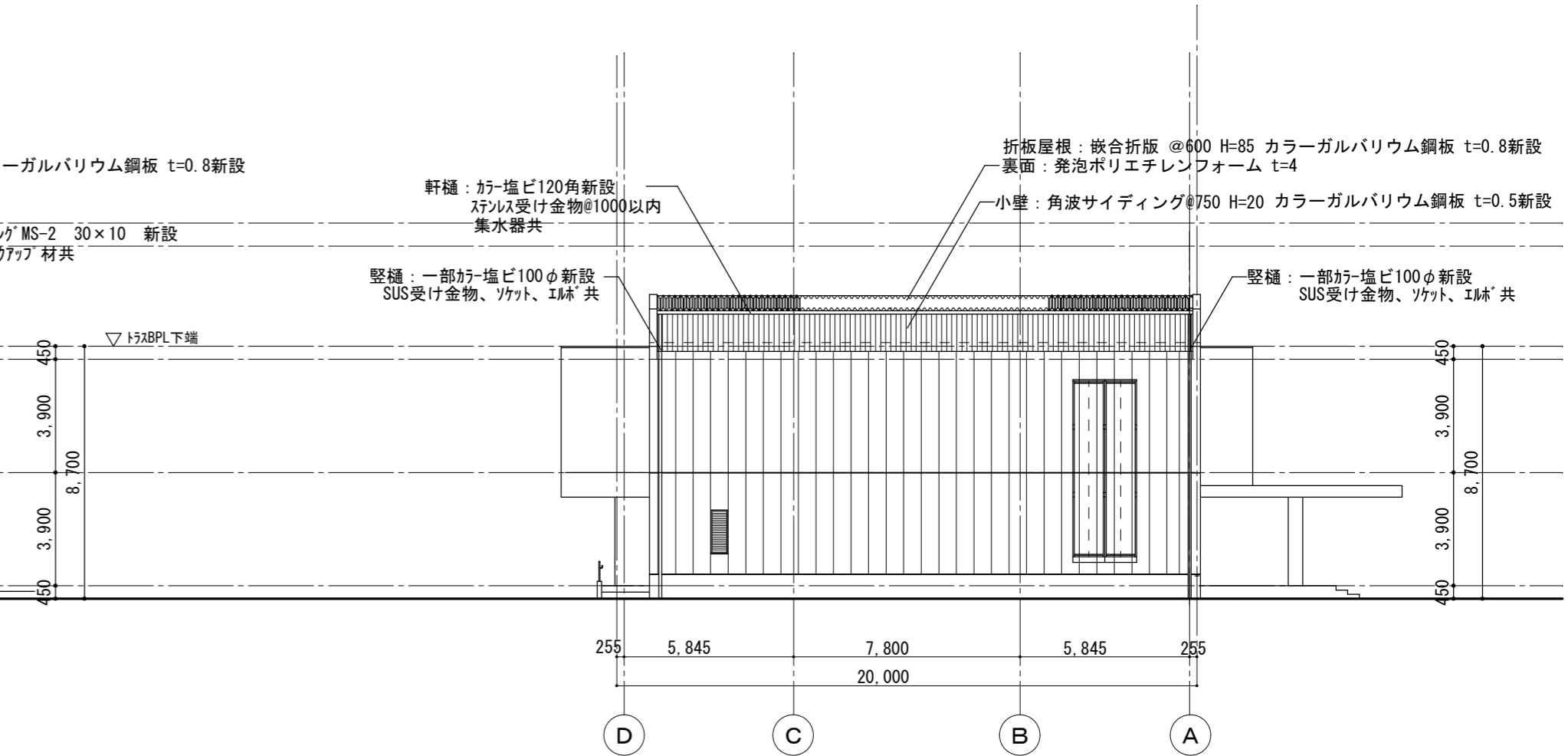
南立面図 S=1/200



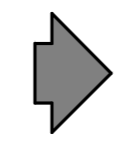
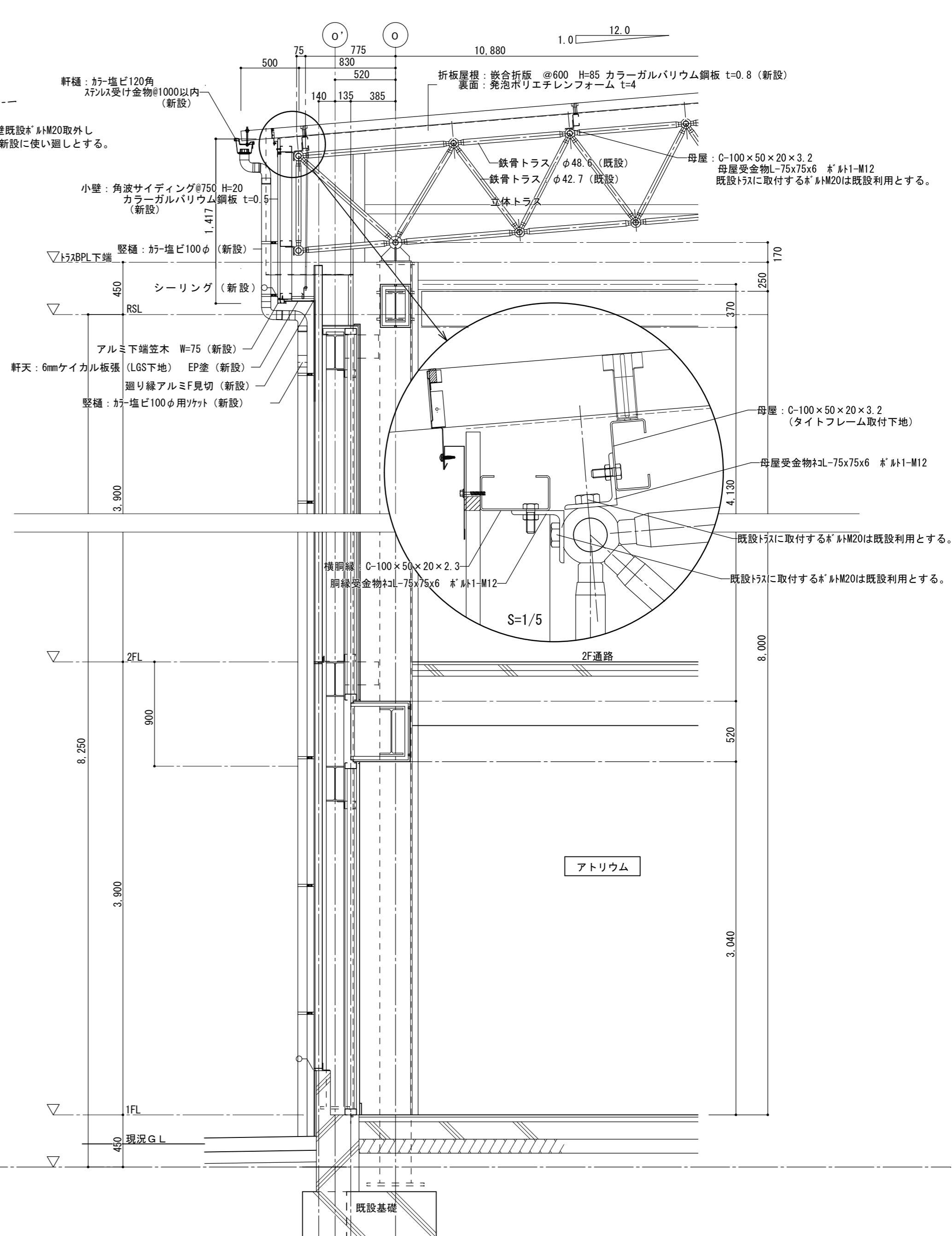
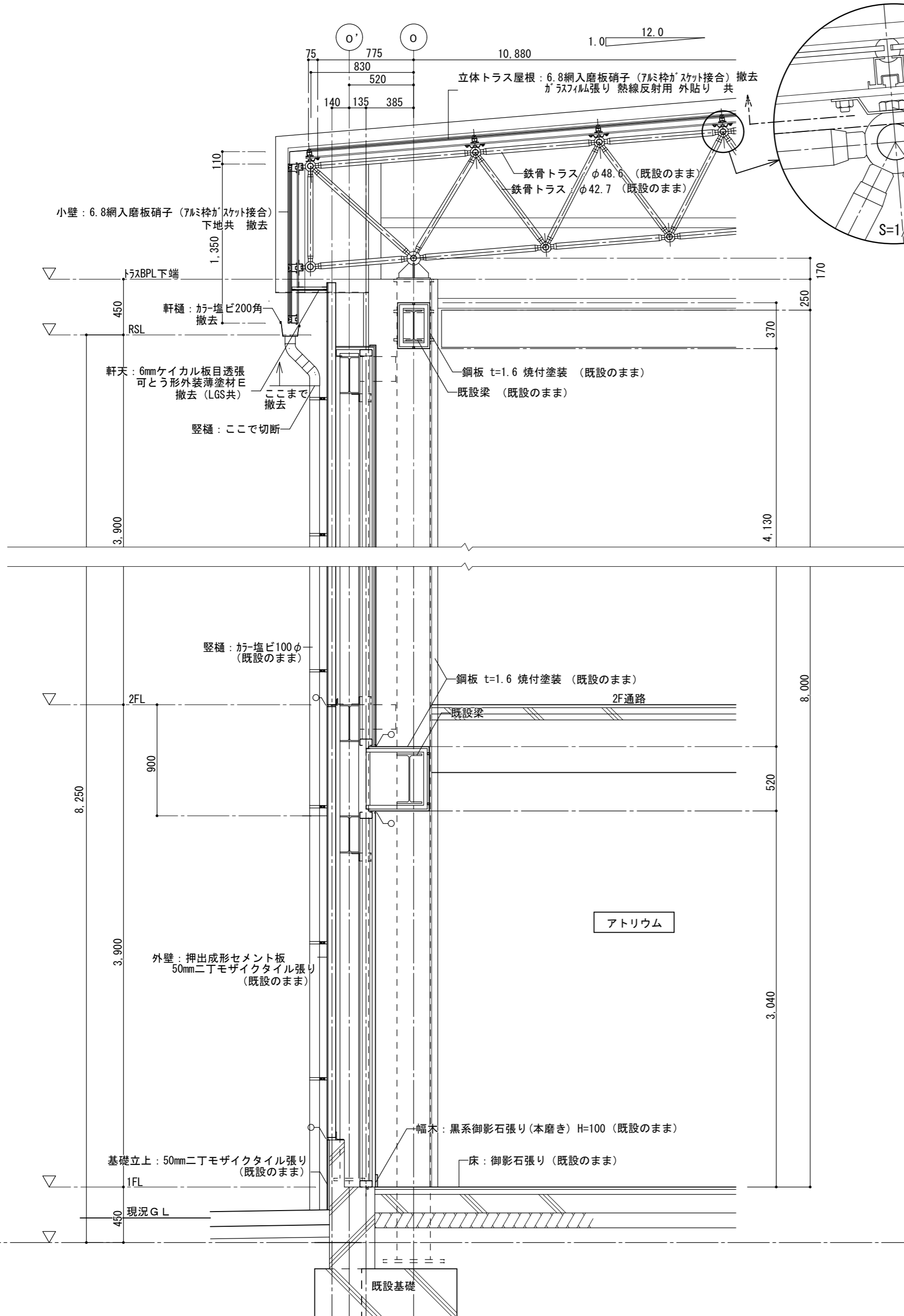
東立面図 S=1/200

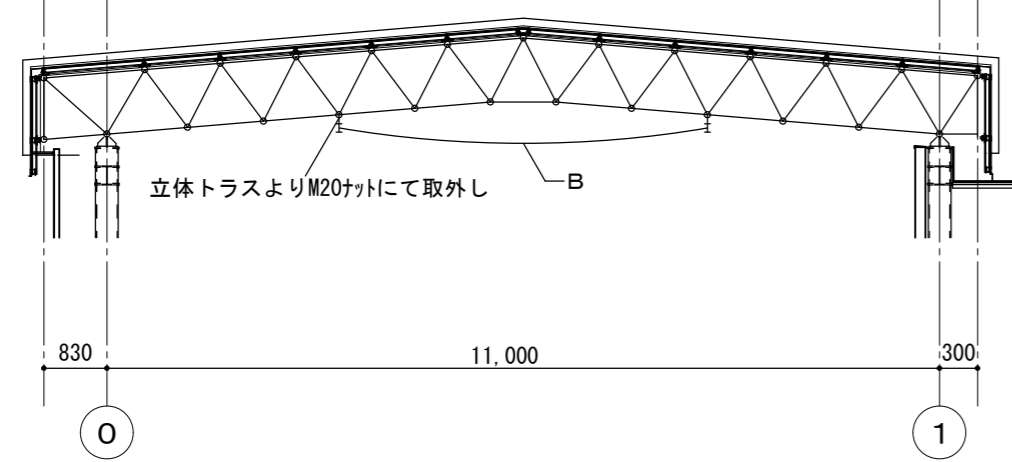
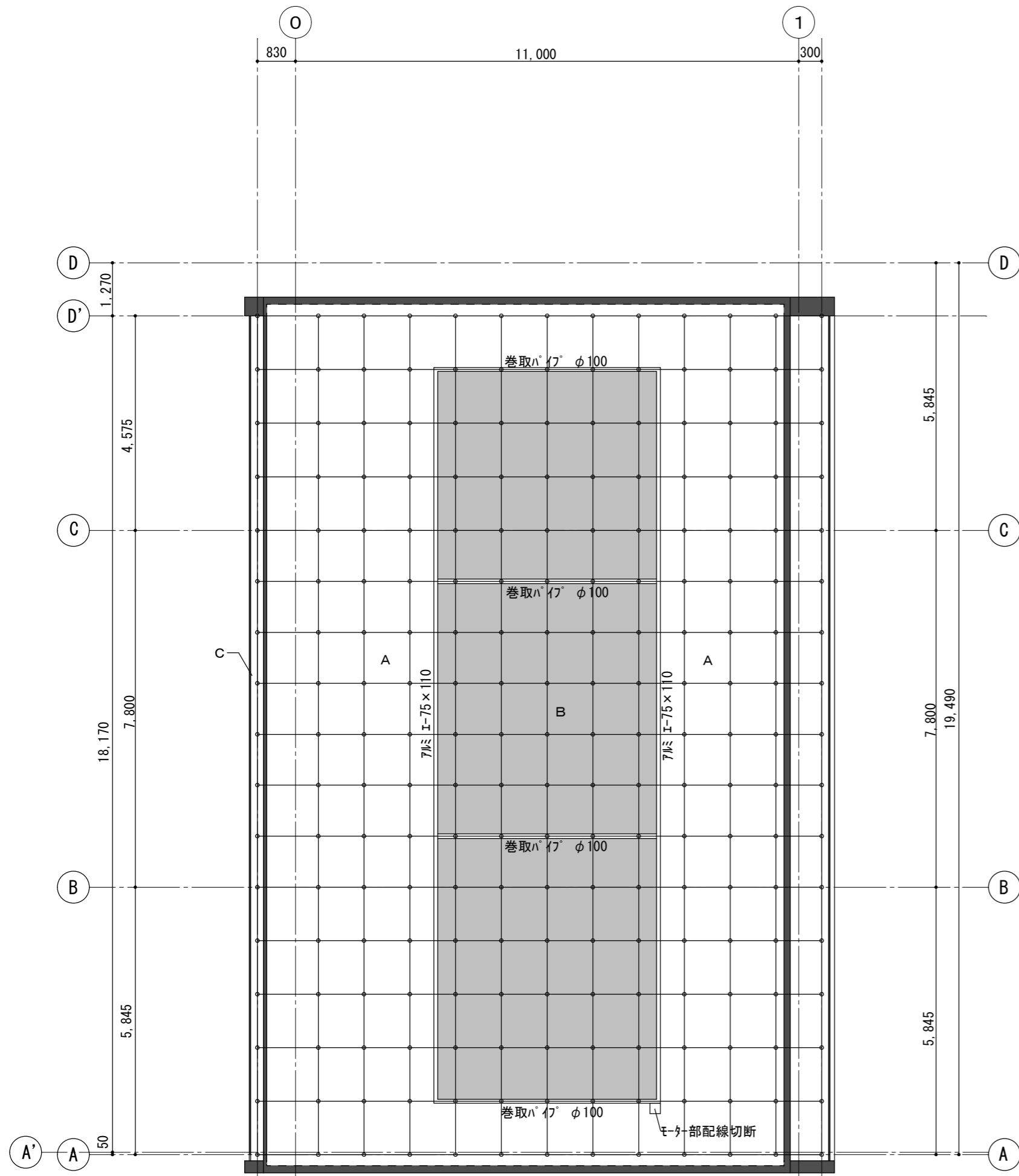


北立面図 S=1/200



西立面図 S=1/200

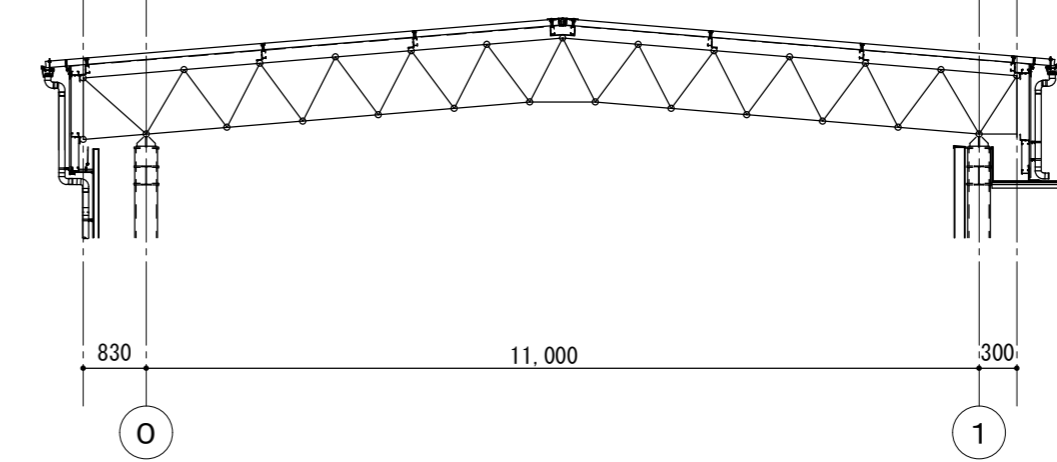
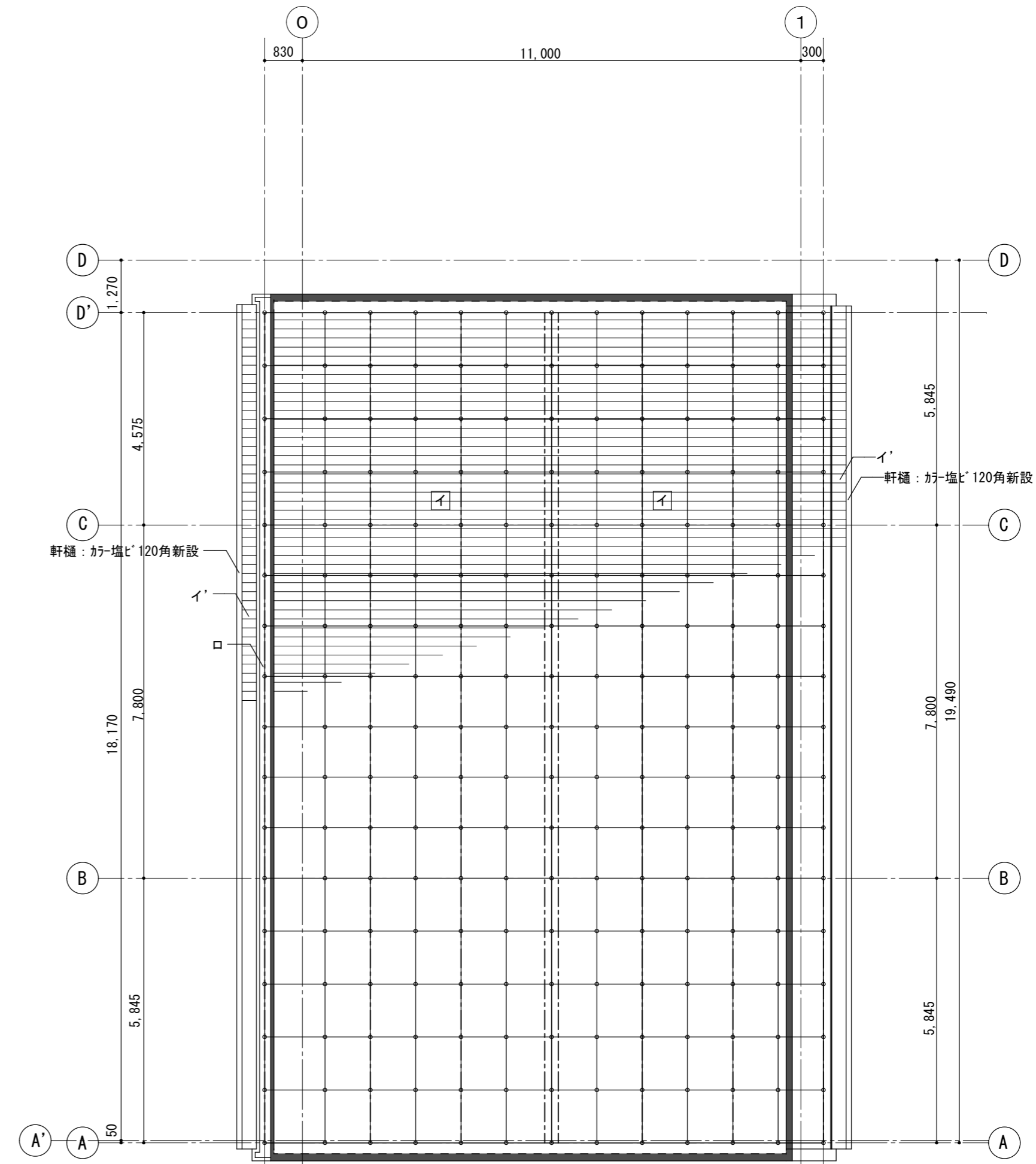




改修前天井伏図 S=1/100

凡例 印は外壁及び内壁を示す
※モーター部配線切断の上分電盤のブレーカ2次側を取外しとする。

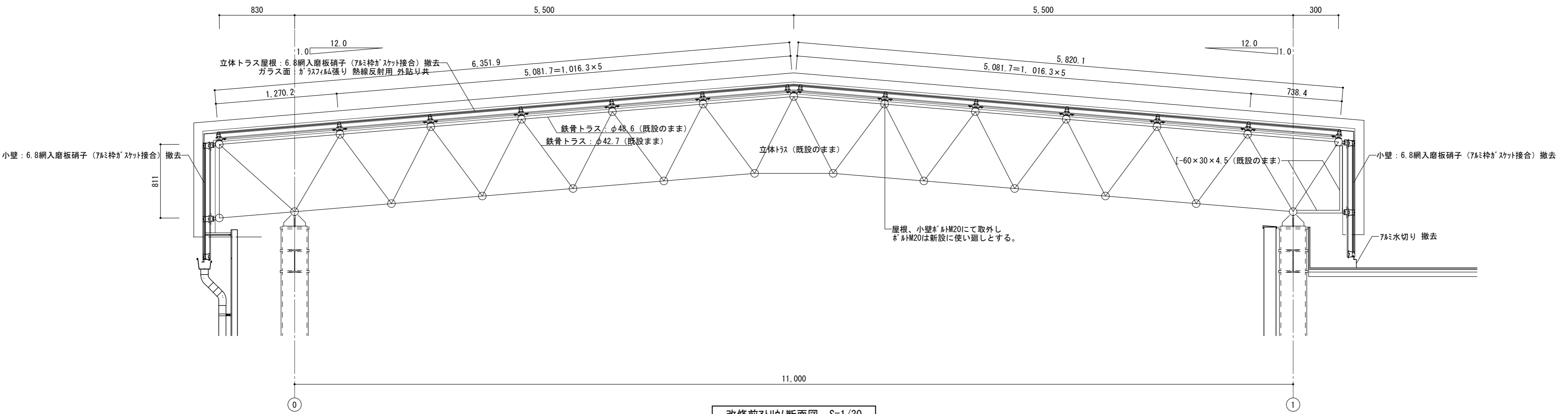
改修前天井仕上表	
A	立体トラス屋根: 6.8網入磨板硝子(7mm枠カセット接合) 撤去
B	遮光幕(枠、モーターユニット共) 撤去 立体トラスよりM20ナットにて取外し
C	軒天: 6mmケイカル板目透張 LGS下地 可とう形外装薄塗材 E 撤去



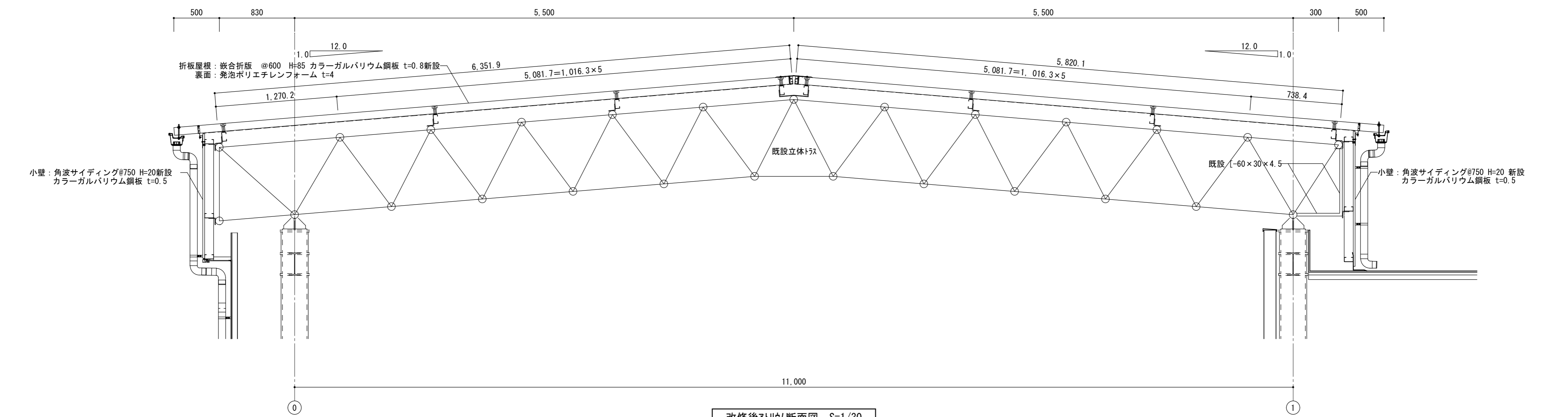
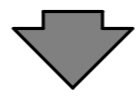
改修后天井伏図 S=1/100

凡例 印は外壁及び内壁を示す

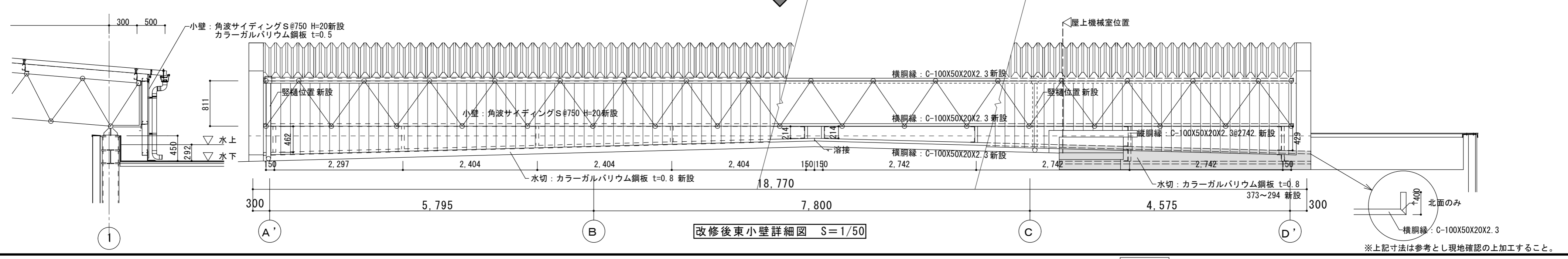
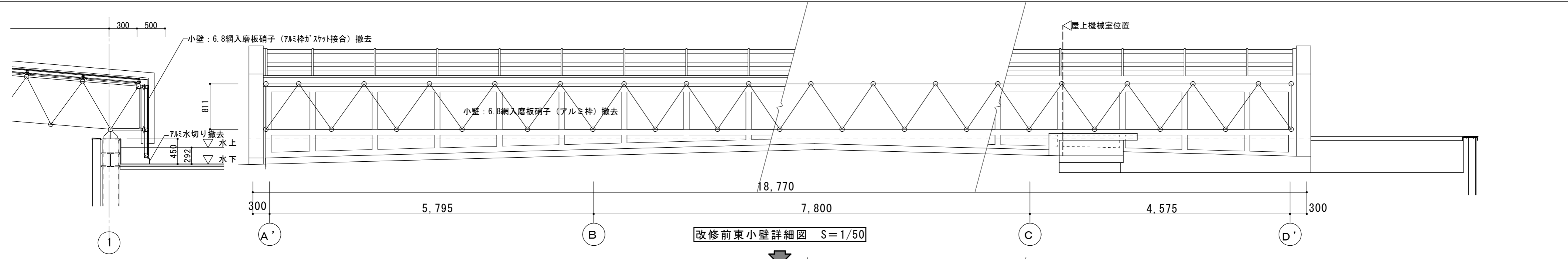
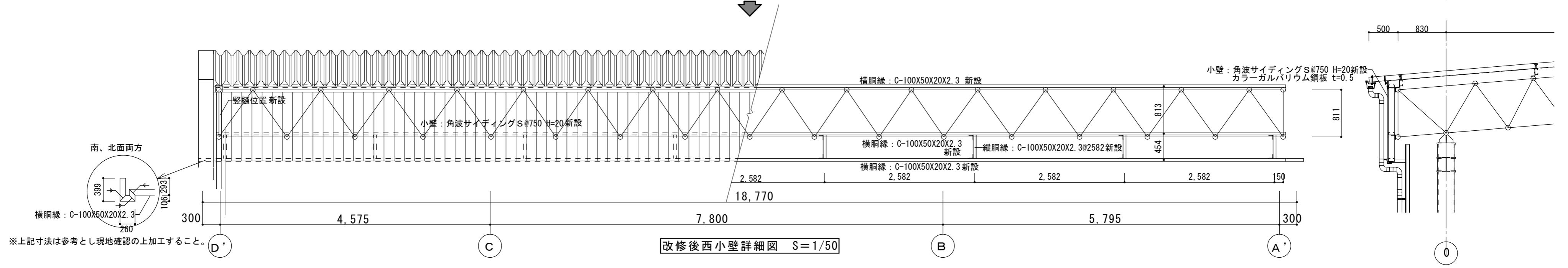
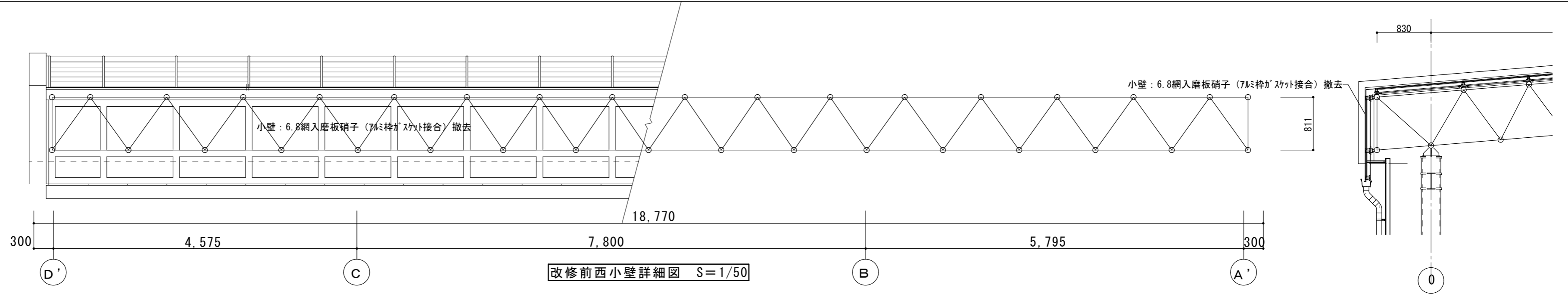
改修后天井仕上表	
イ	折板屋根: 嵌合折板 @600 H=85 カラーガルバリウム鋼板 t=0.8 裏面: 発泡ポリエチレンフォーム t=4 新設
イ'	折板屋根: 嵌合折板 @600 H=85 カラーガルバリウム鋼板 t=0.8 新設
ロ	軒天: 6mmケイカル板張(LGS下地) EP塗 廻り縁アルミF見切 アルミ下端笠木 W=75 新設

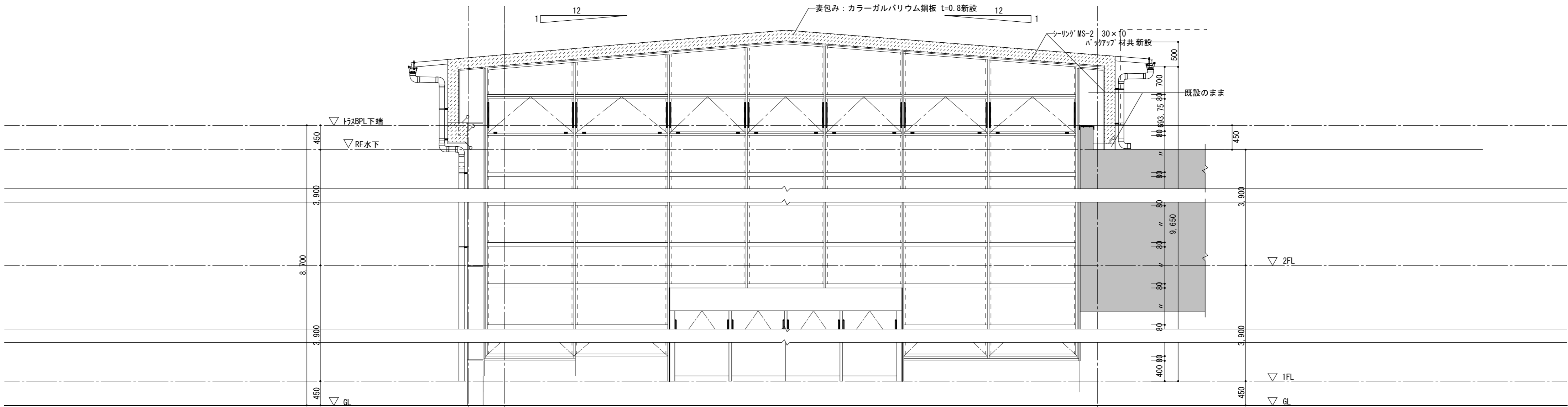


改修前アトリウム断面図 S=1/30

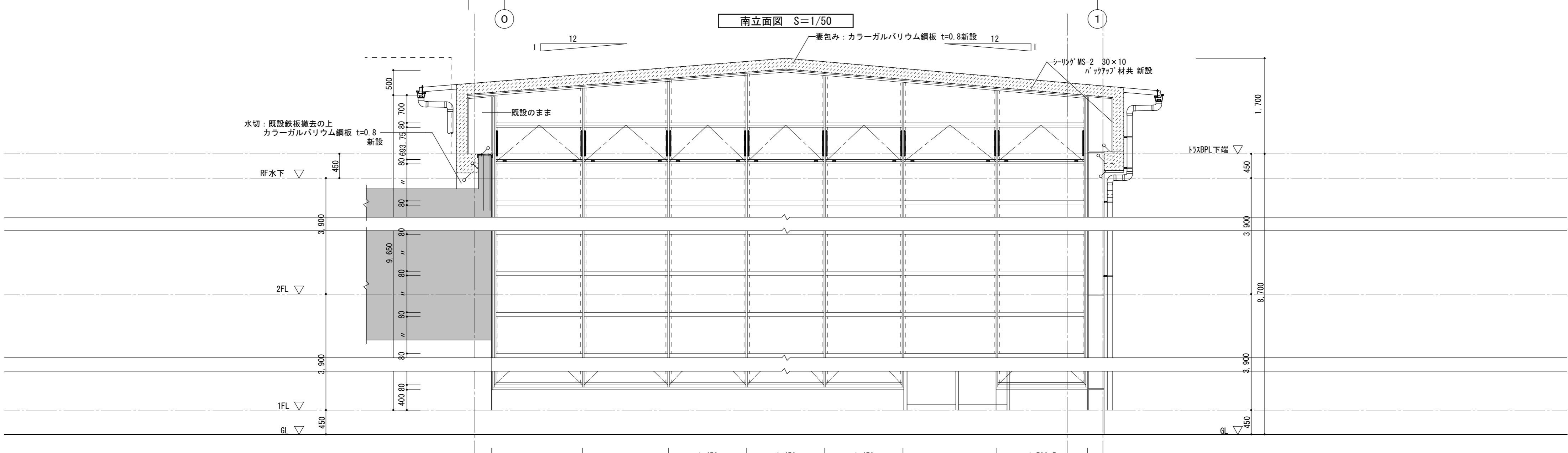


改修後アトリウム断面図 S=1/30



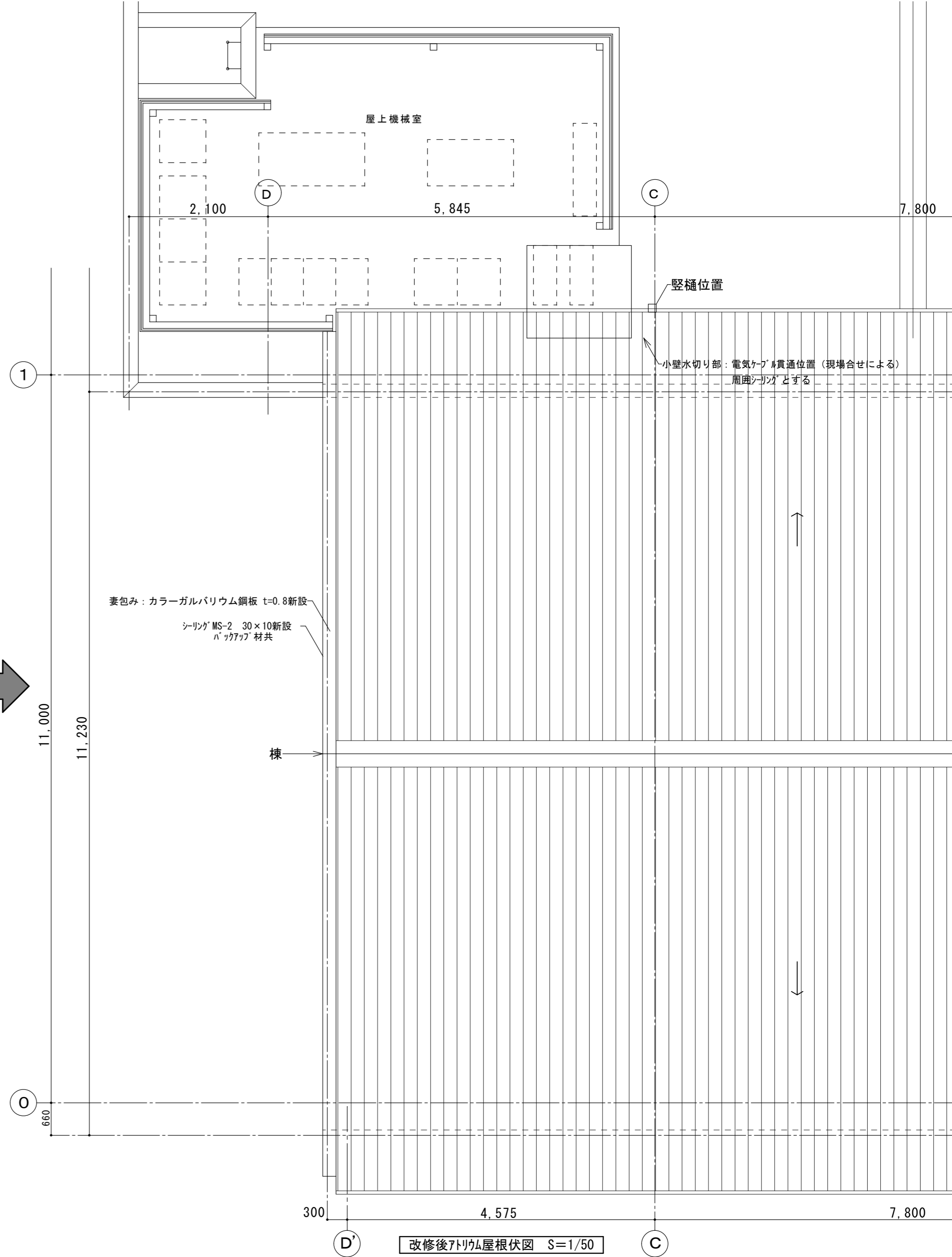
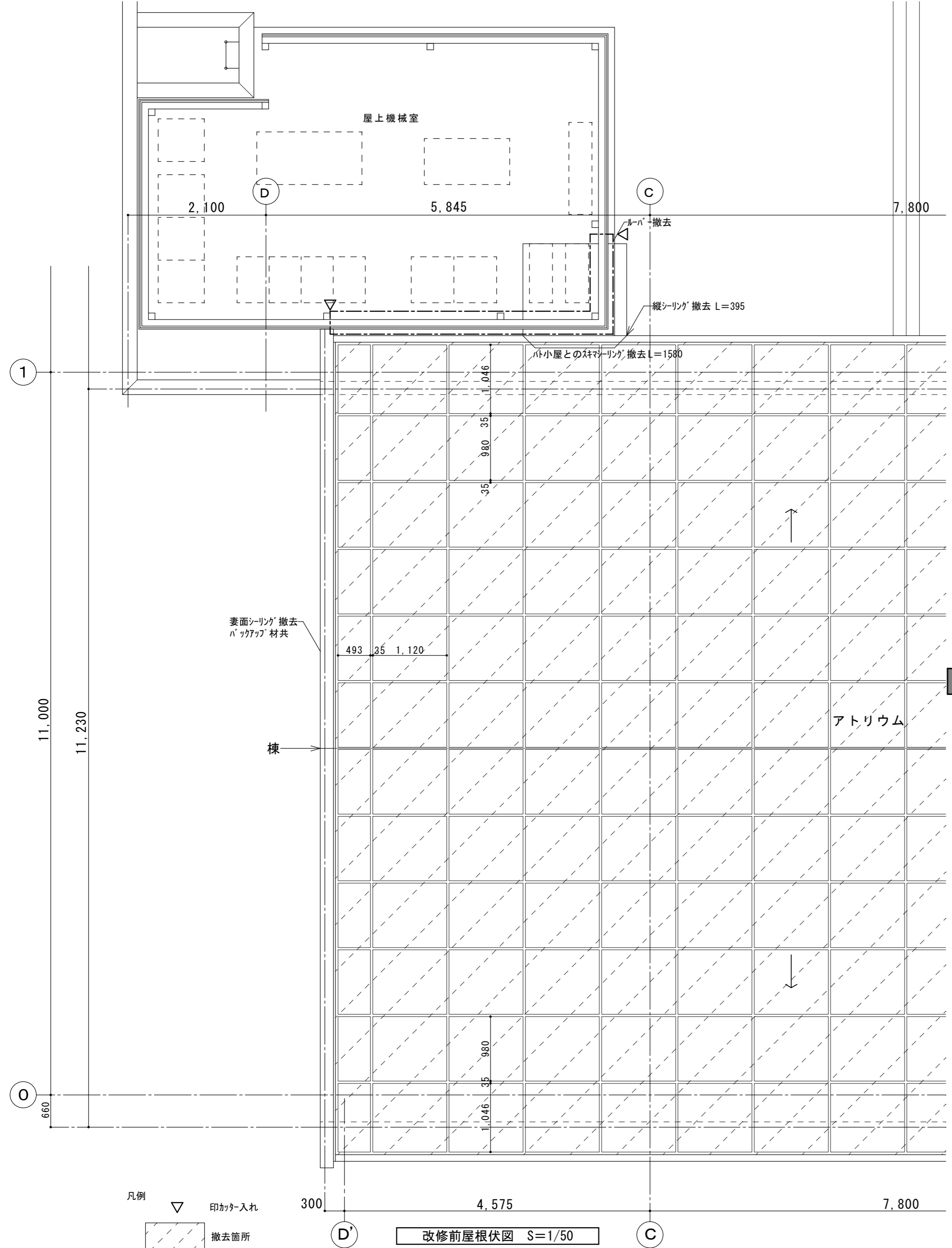


南立面図 S=1/50



北立面図 S=1/50

シーリング MS-2 15x10新設

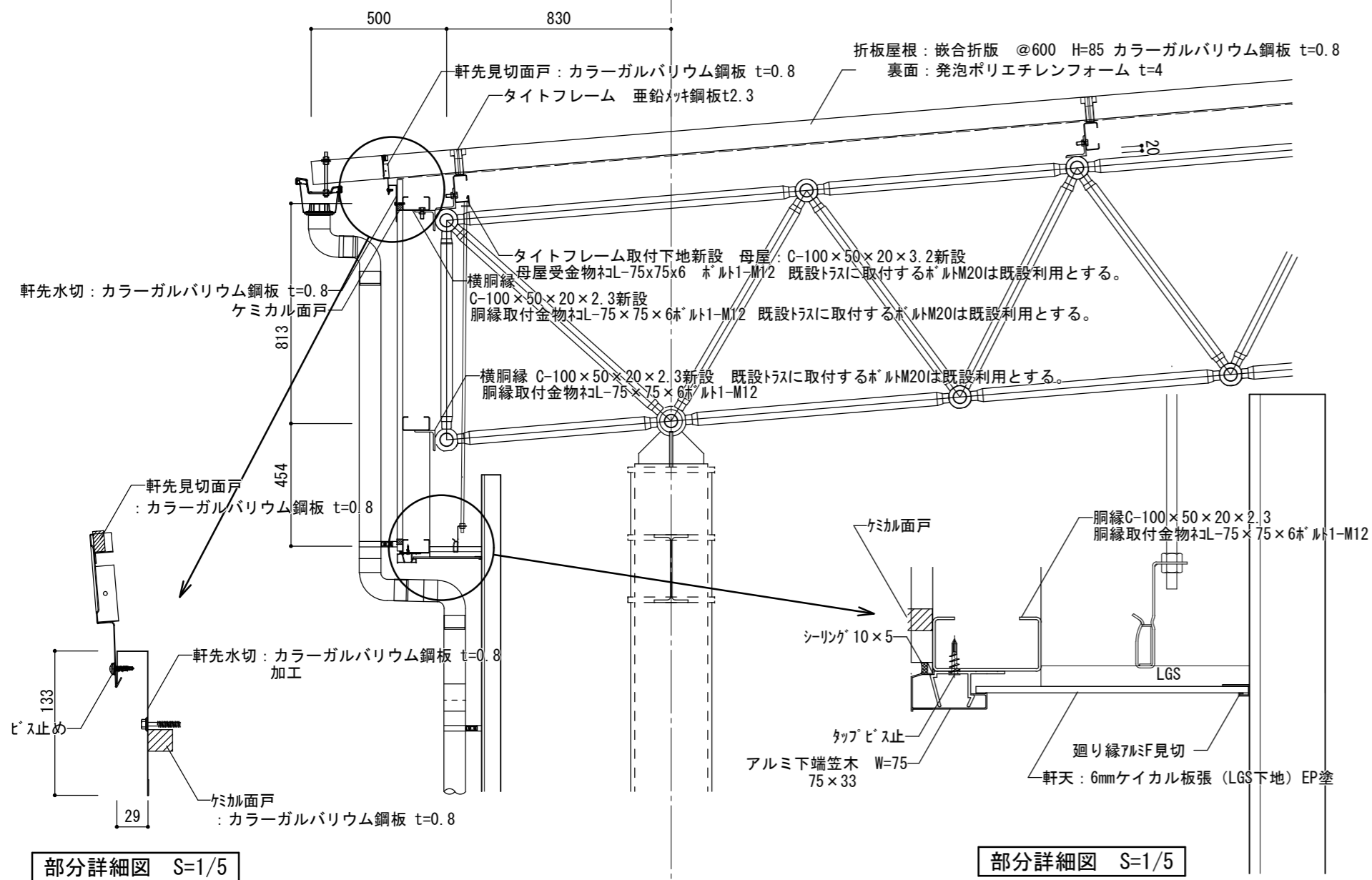


凡例
 ▼ 印カッター入れ
 [斜線] 撤去箇所

改修前屋根伏図 S=1/50

改修後アトリウム屋根伏図 S=1/50

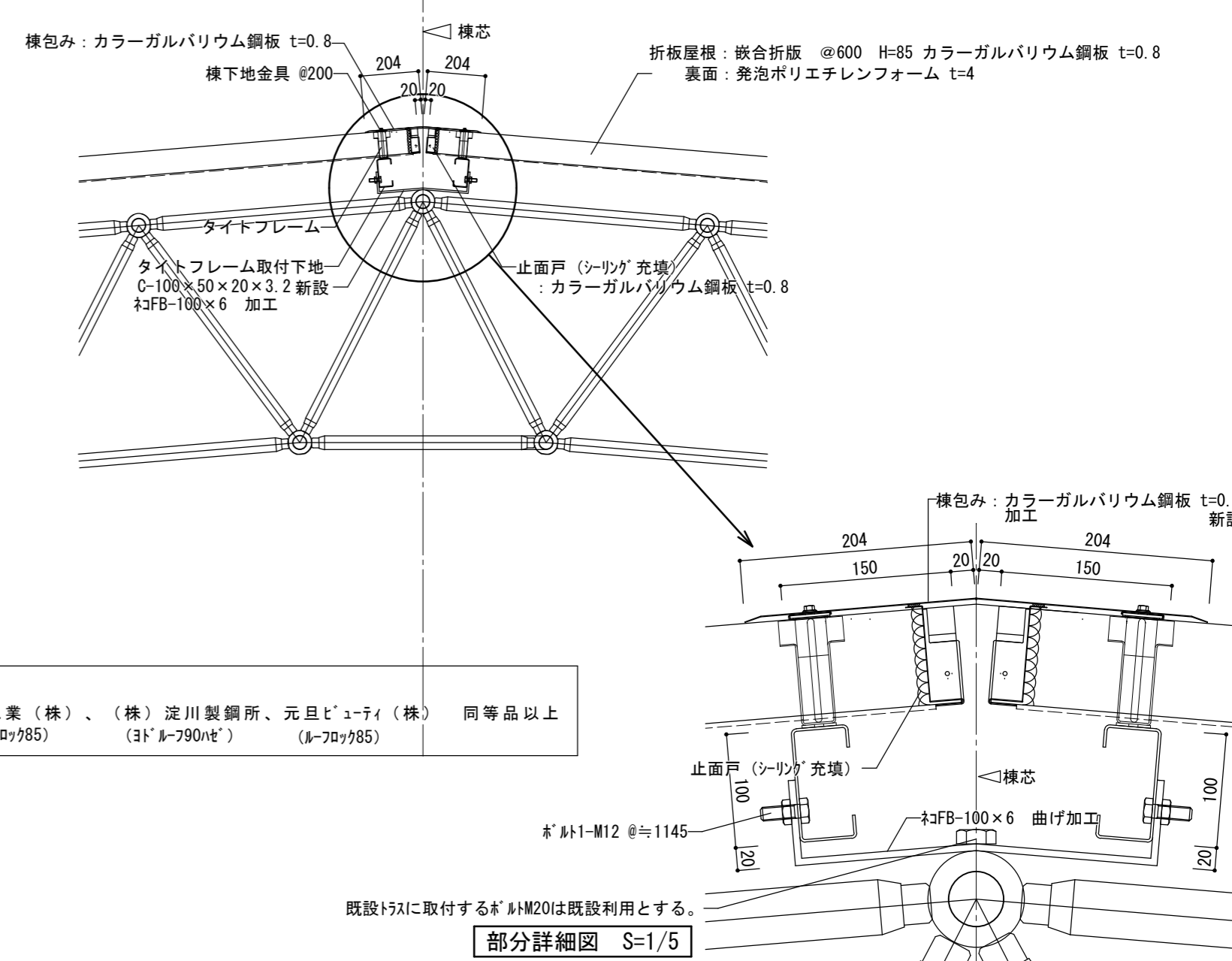
軒先詳細図 (西側)



部分詳細図 S=1/5

部分詳細図 S=1/5

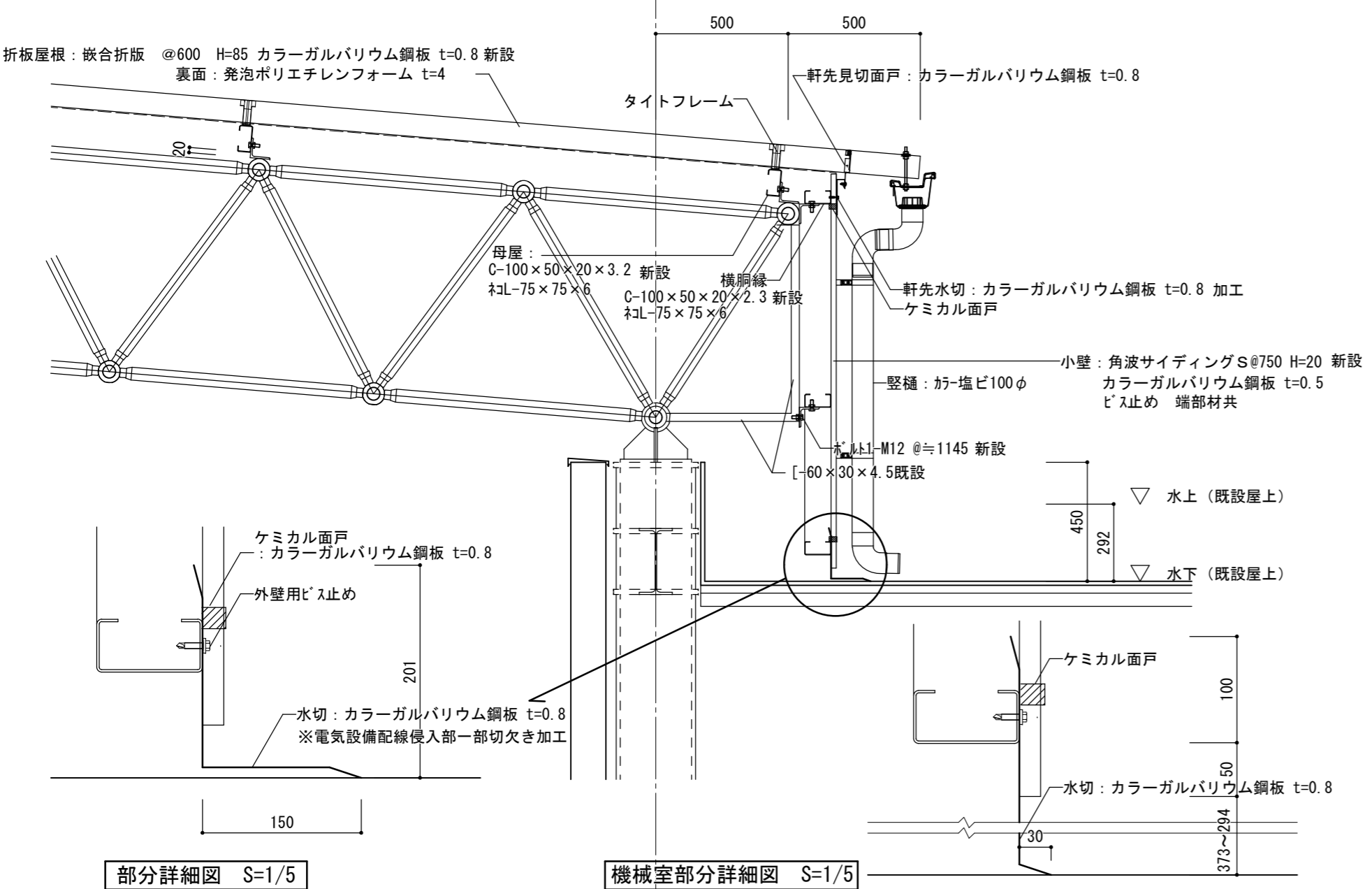
棟部詳細図



※屋根工事
 三晃金属工業 (株)、(株) 淀川製鋼所、元且ビユーティ (株) 同等品以上
 (三晃式F-700t85) (30t F-790t85) (F-700t85)

部分詳細図 S=1/5

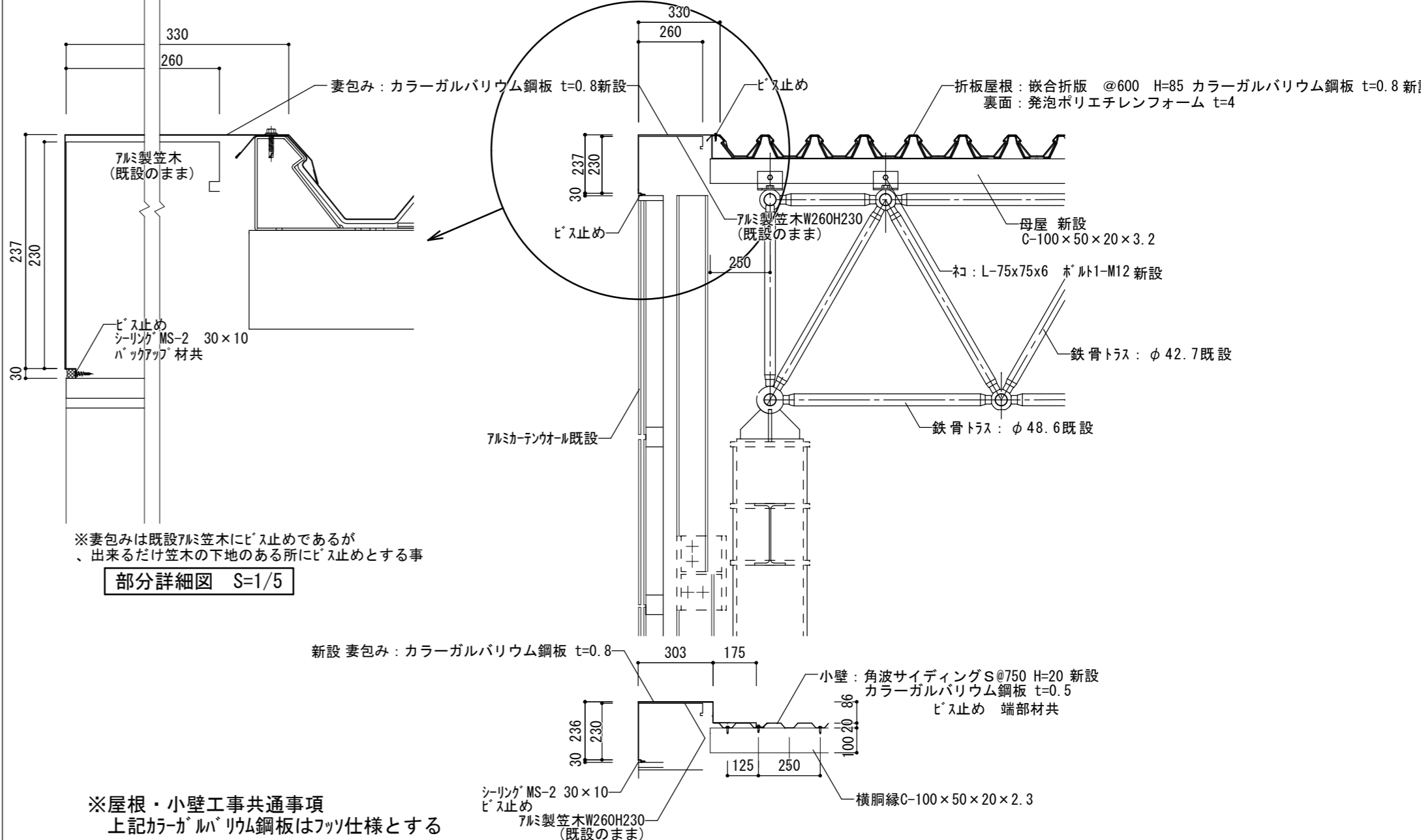
軒先詳細図 (東側)



部分詳細図 S=1/5

機械室部分詳細図 S=1/5

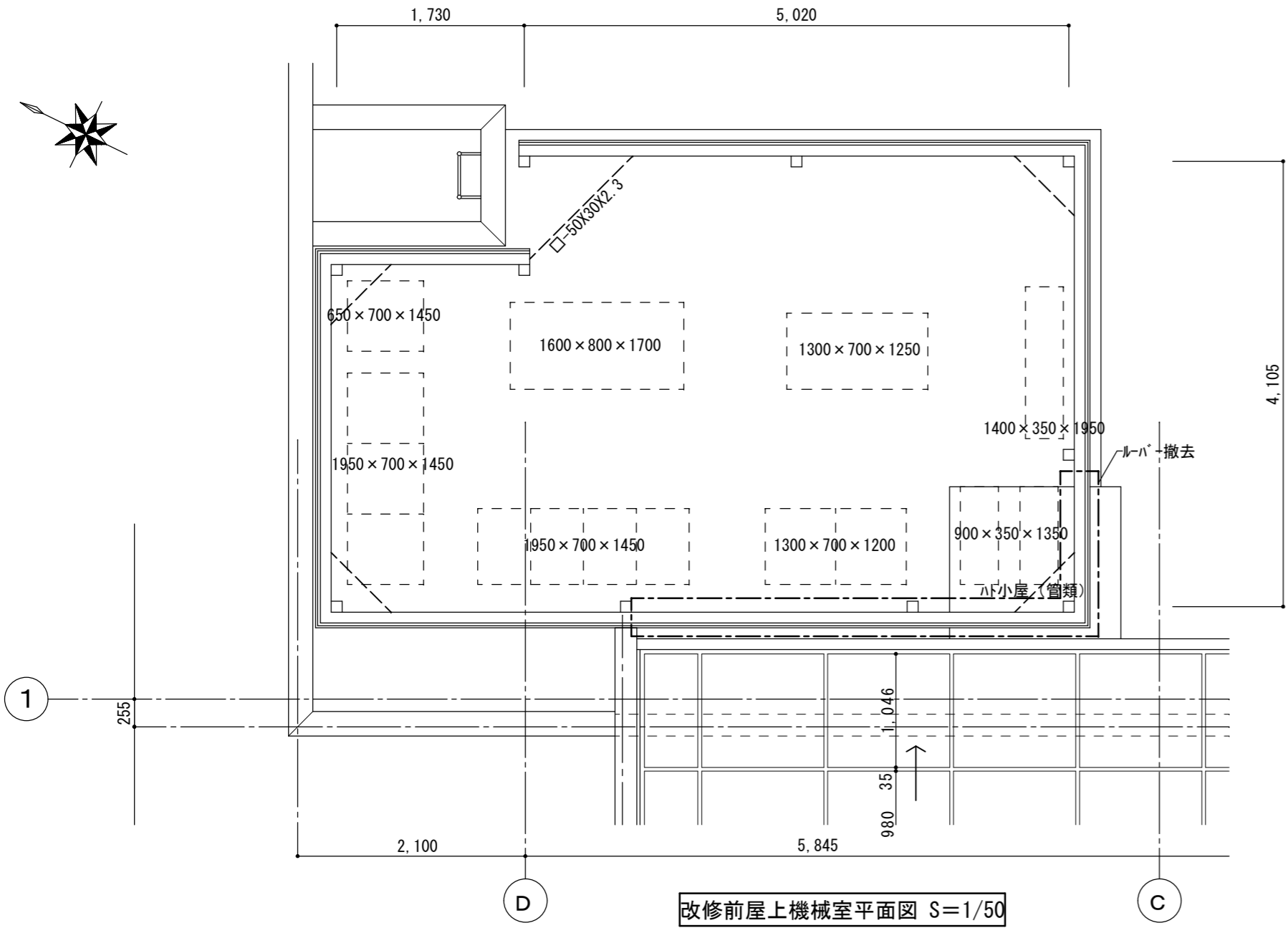
ケラバ納め (ケラバ包)



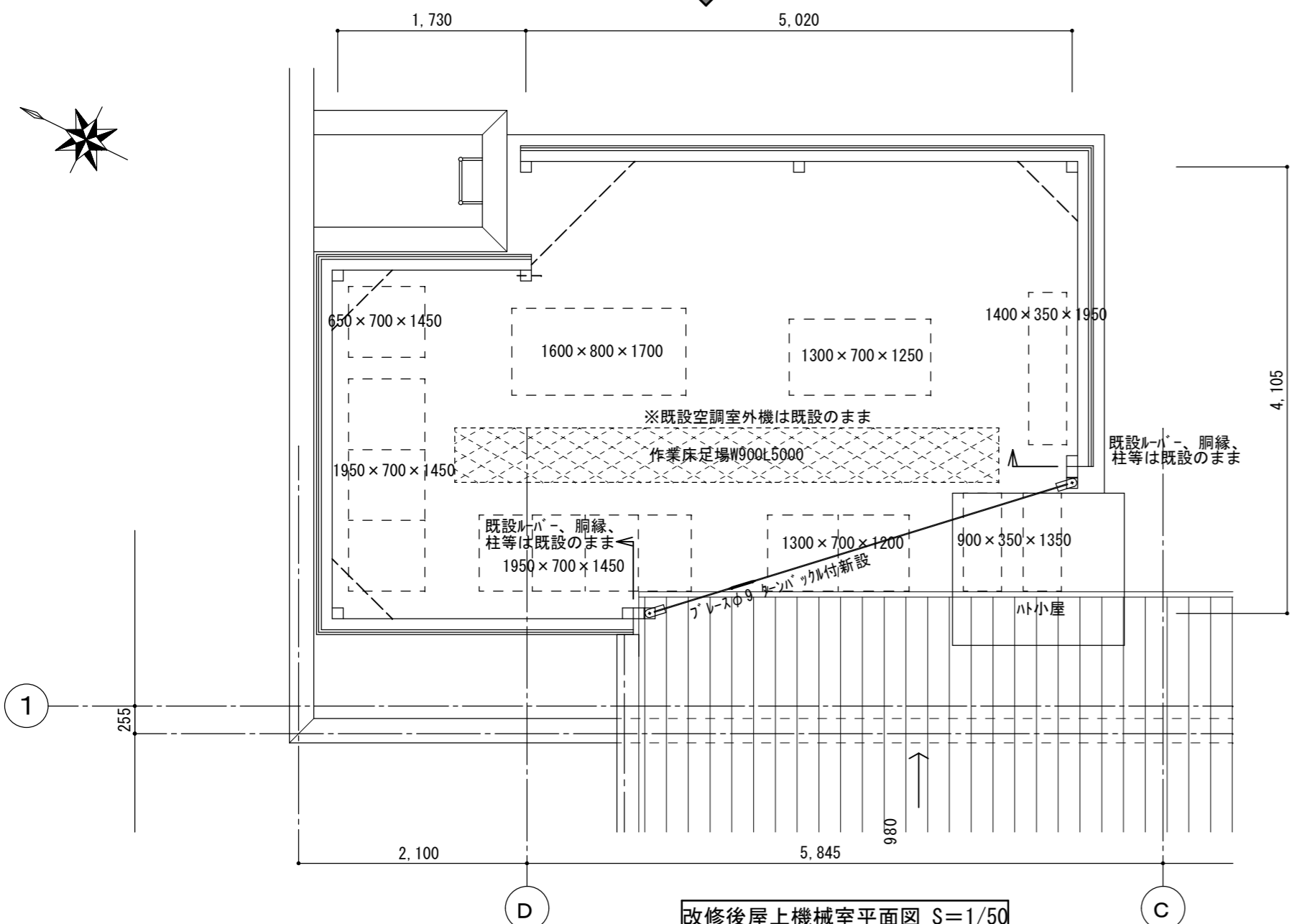
※妻包みは既設φL-M1-M12にビ止めであるが、出来るだけ笠木の下の地のある所にビ止めとする事

部分詳細図 S=1/5

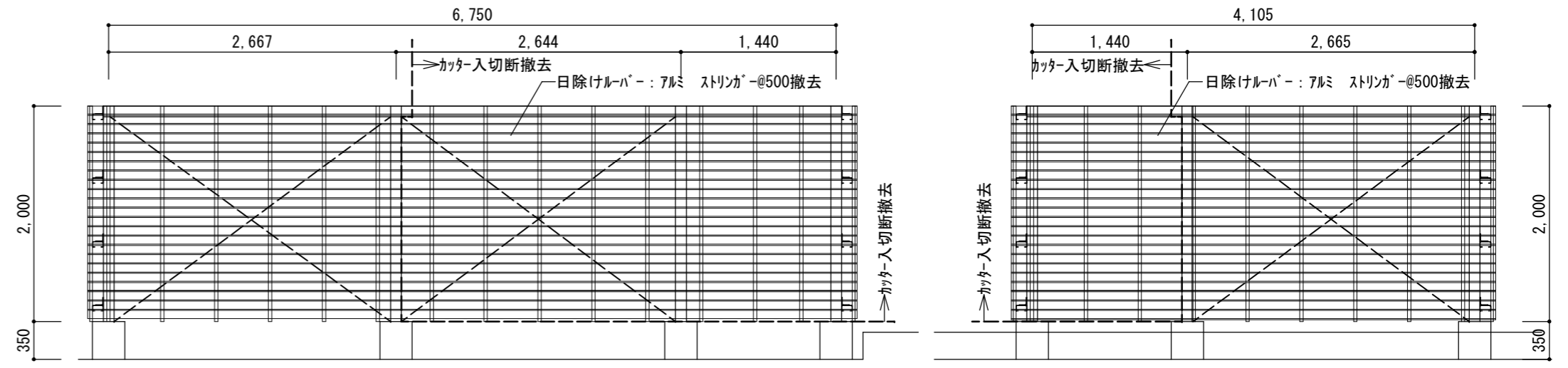
※屋根・小壁工事共通事項
 上記カラーガルバリウム鋼板はF700仕様とする



改修前屋上機械室平面図 S=1/50



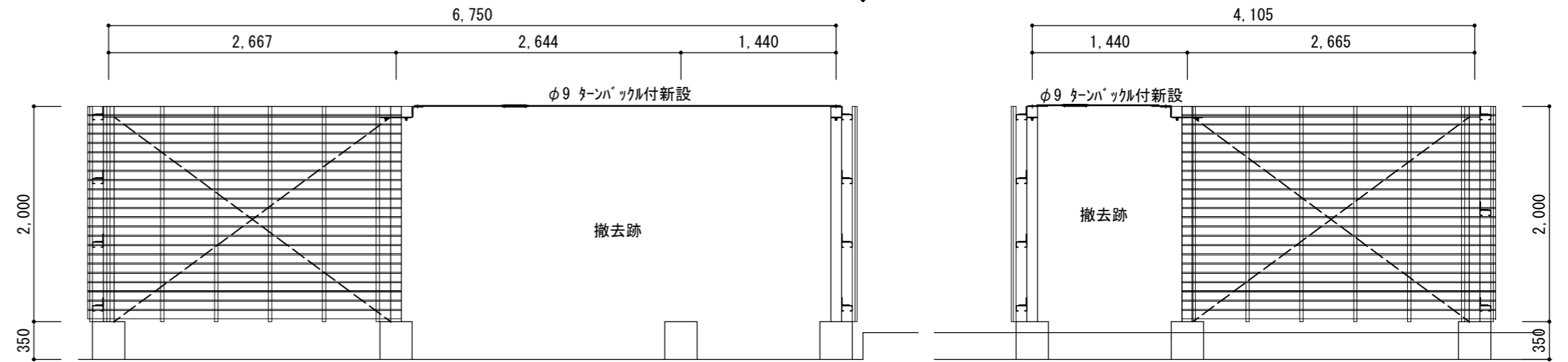
改修後屋上機械室平面図 S=1/50



西面

改修前屋上機械室立面図 S=1/50

南面

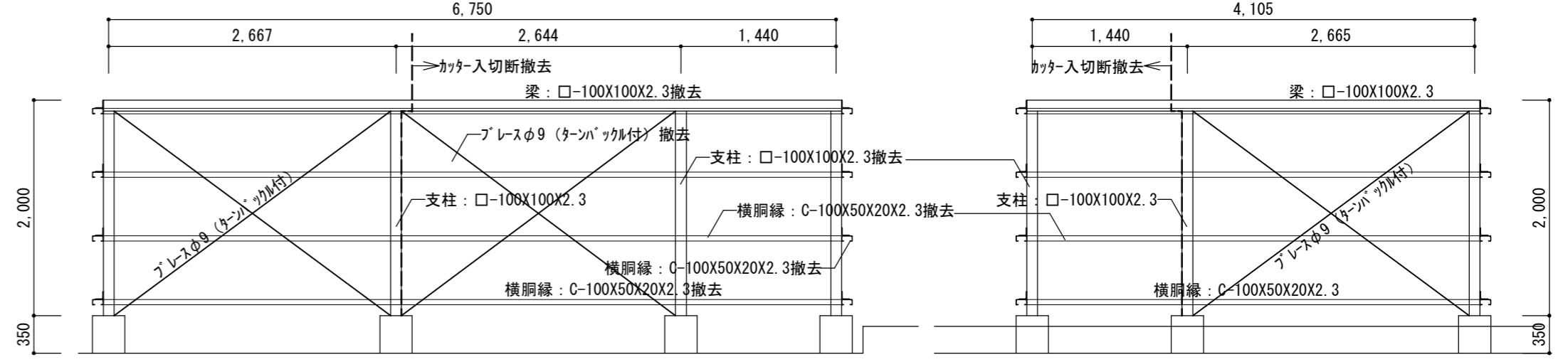


西面

改修後屋上機械室立面図 S=1/50

南面

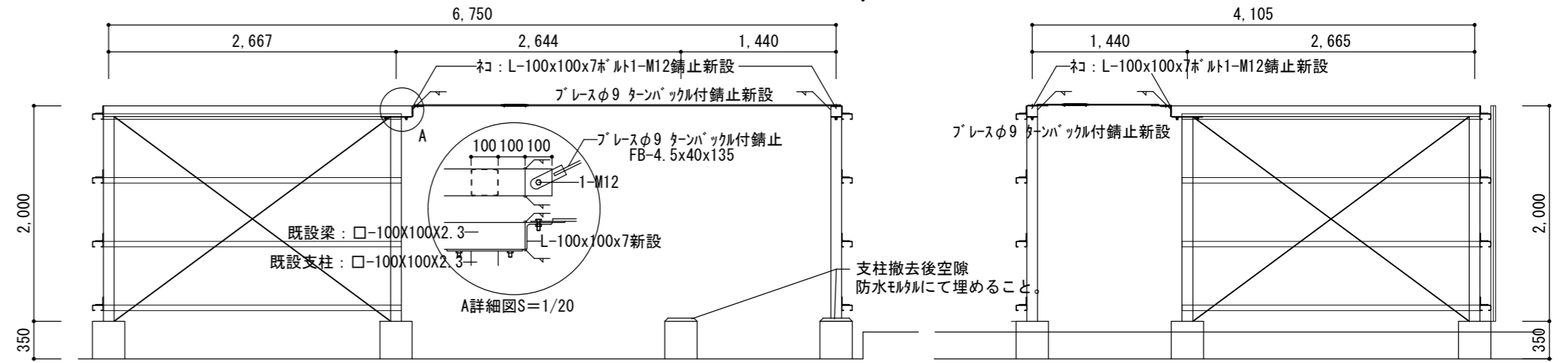
※鉄骨切断後小口は一般錆止塗とする。プレースの材質はすべてSS400とする。
※カッター切断時、室外機等へ適切に養生すること



西面

改修前屋上機械室軸組図 S=1/50

南面

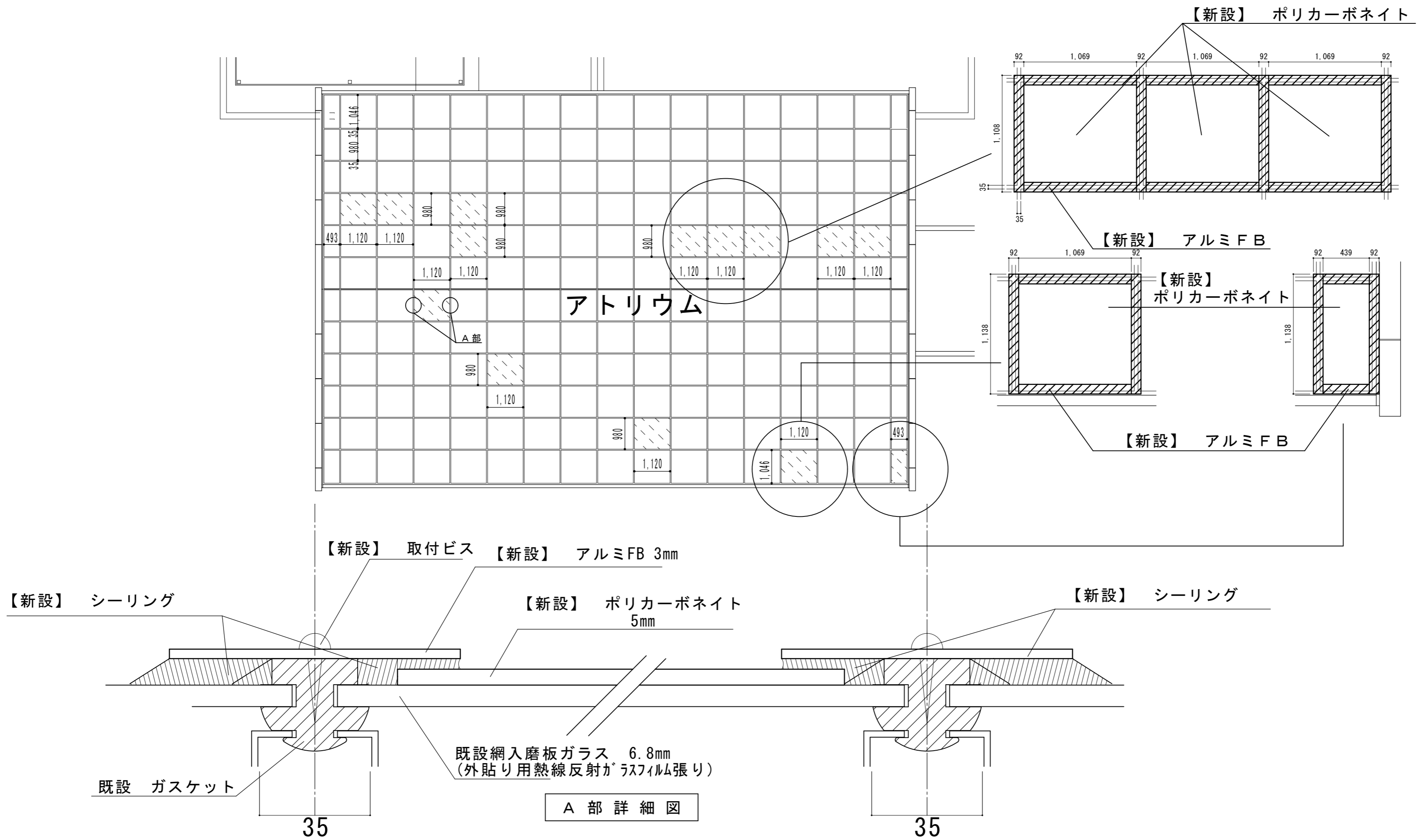


西面

改修後屋上機械室軸組図 S=1/50

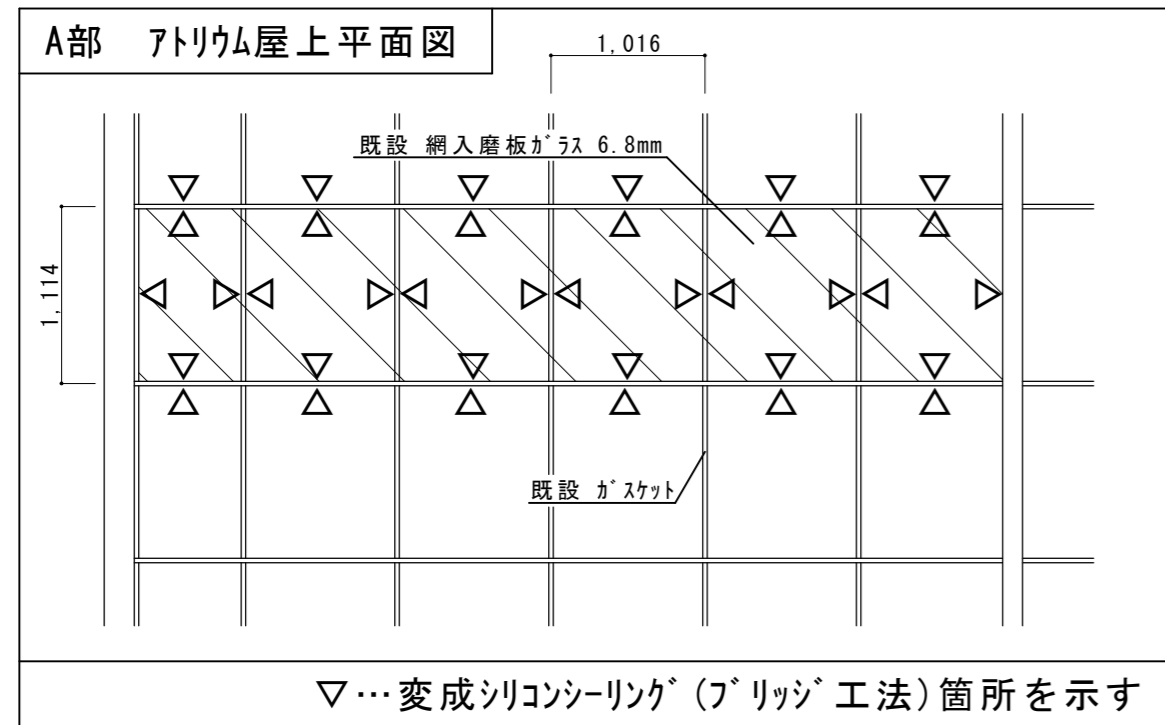
南面

※鉄骨切断後小口は一般錆止塗とする。プレースの材質はすべてSS400とする。

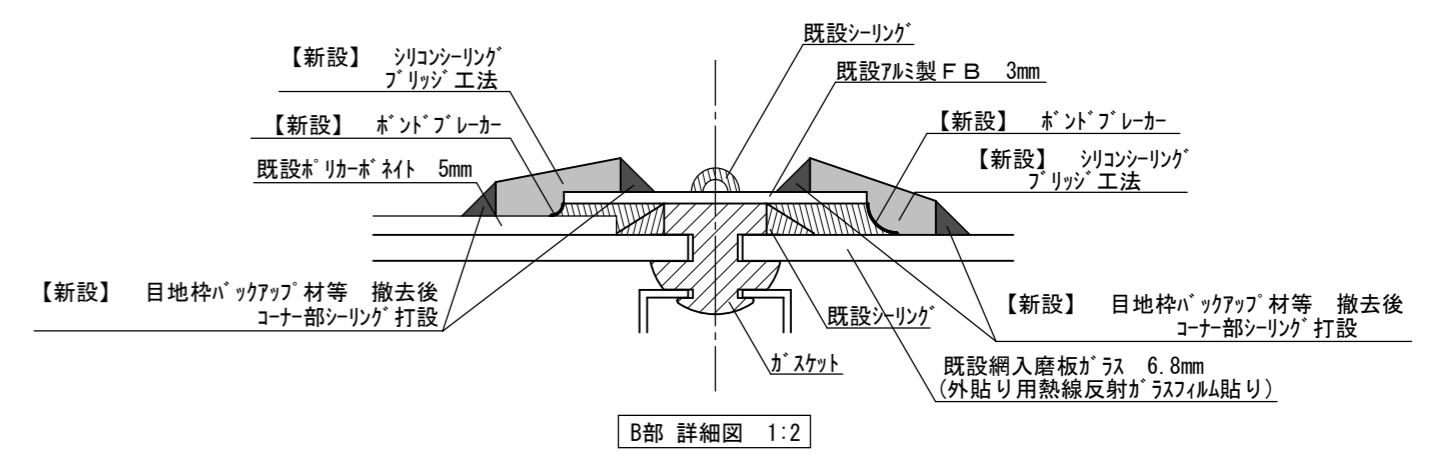
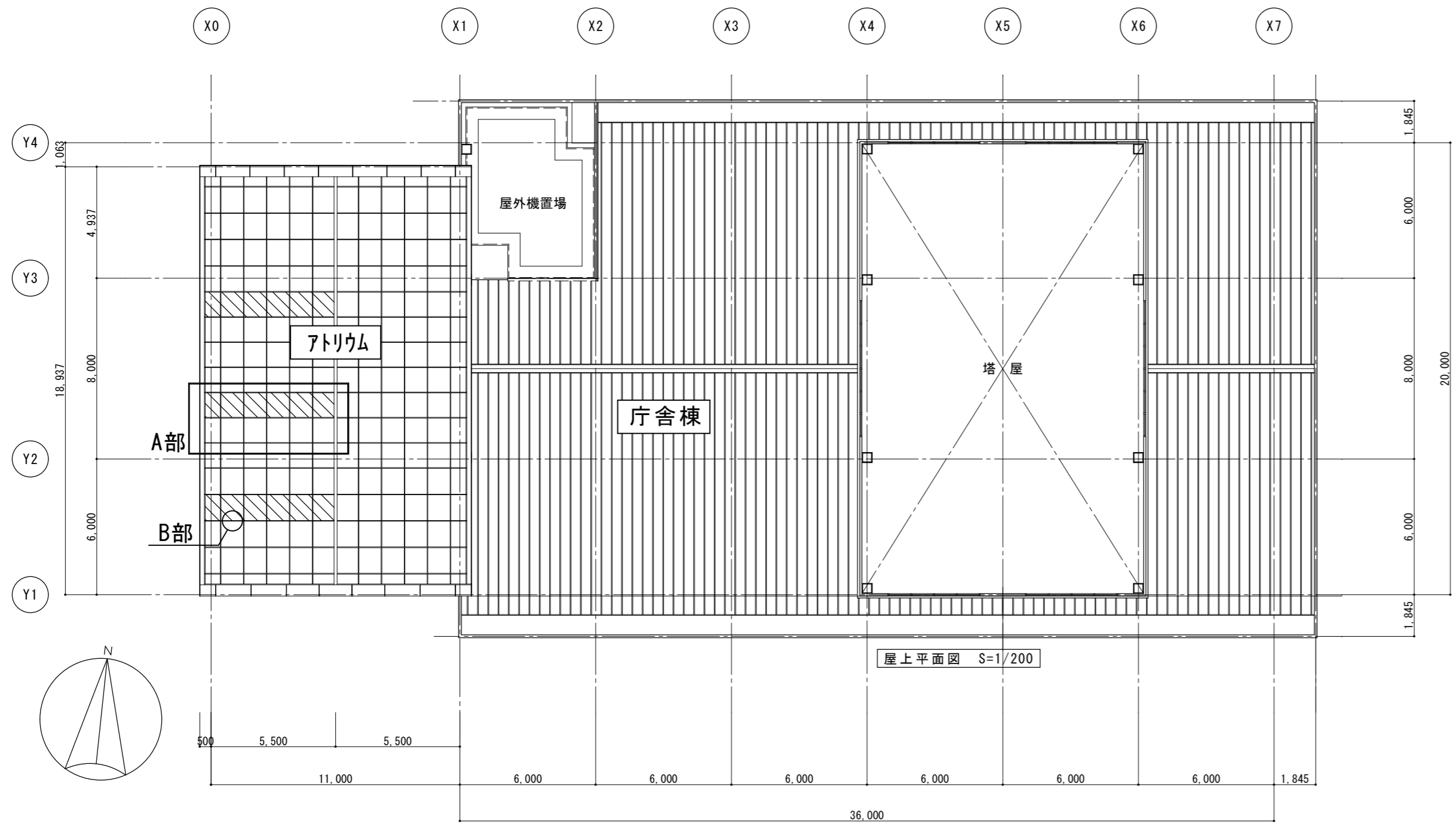


※上記全て撤去

〈参考図〉



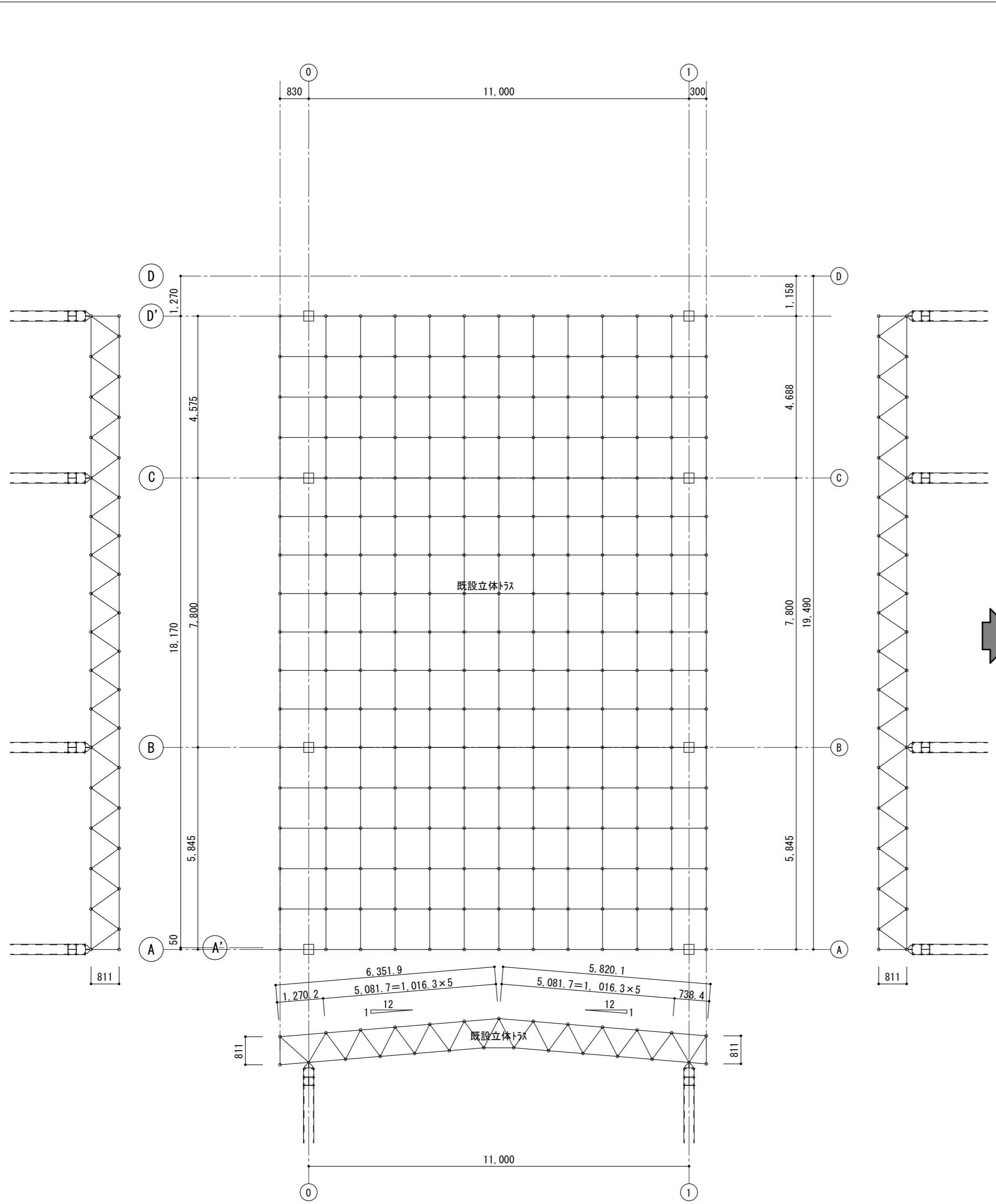
改修後仕上表		
屋根	アトリウム	シリコンシーリング (フリップ工法) 新設



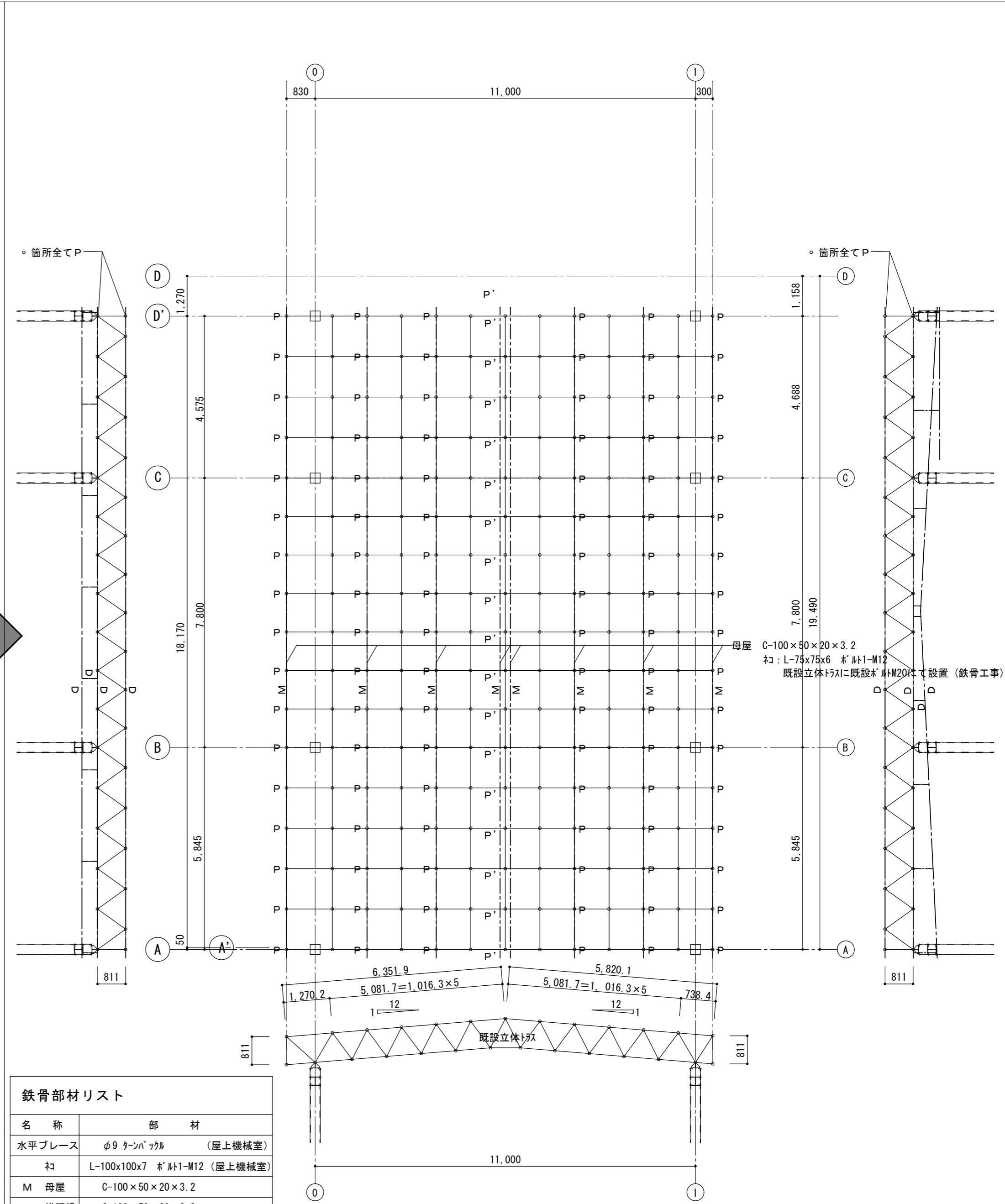
斜線 : ガスカート目地 変成シリコンシーリング (フリップ工法) 改修範囲を示す

※上記全て 撤去

〈参考図〉



改修前梁伏図 S=1/100



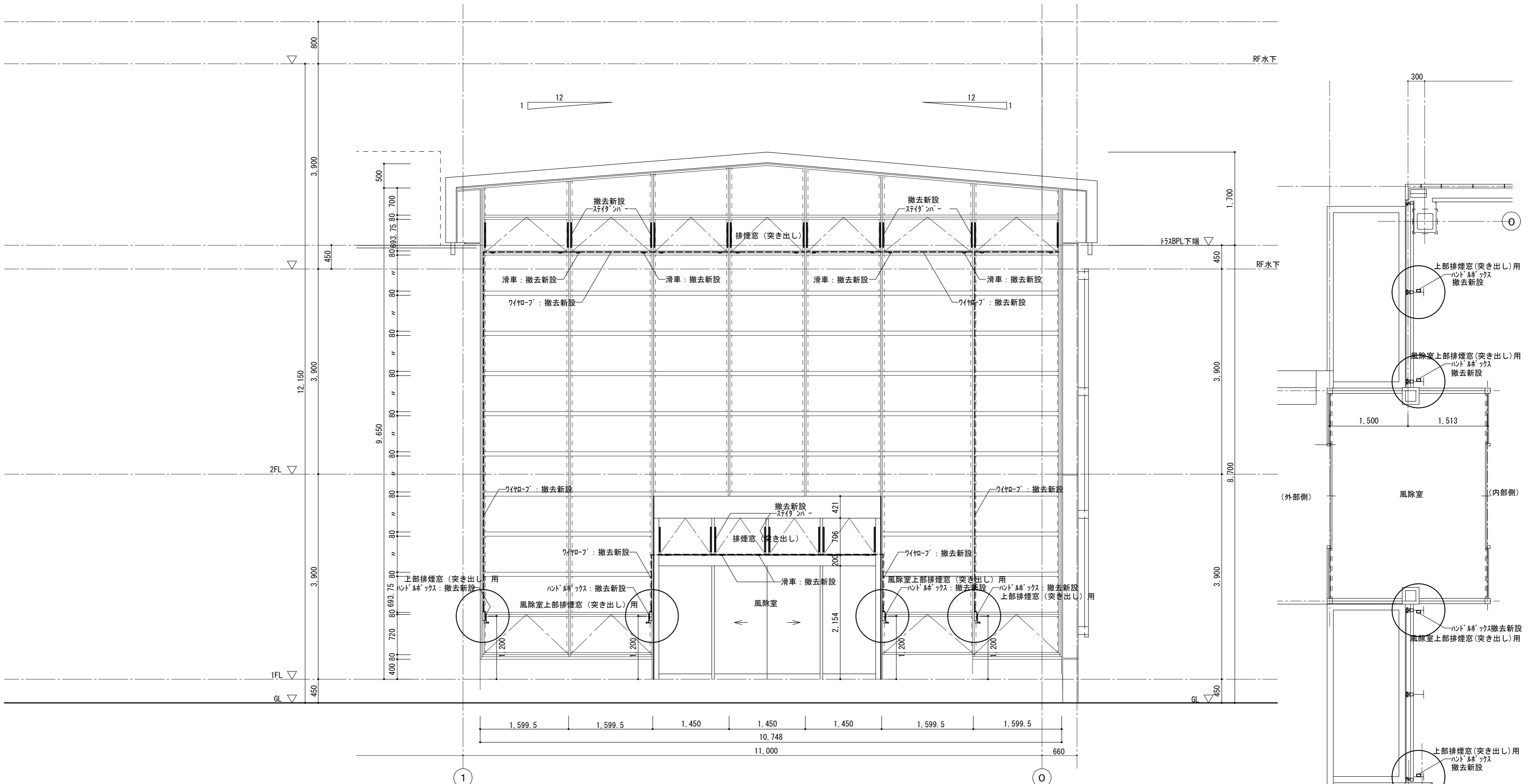
改修後梁伏図 S=1/100

鉄骨部材リスト

名称	部材
水平ブレース	φ9 タンバール (屋上機械室)
ㄞ	L-100x100x7 ㄞ 121-M12 (屋上機械室)
M	母屋 C-100×50×20×3.2
D	横胴縁 C-100×50×20×2.3
P	ㄞ L-75x75x6 ㄞ 121-M12
P' ㄞ (棟部)	FB-100×6 加工

※新設鉄骨材全て SOP塗り

母屋 C-100×50×20×3.2
 ㄞ: L-75x75x6 ㄞ 121-M12
 既設立体トラスに既設ㄞ 121-M20にて設置 (鉄骨工事)



南面建具表 S=1/50

排煙オペレーター改修工事
・排煙オペレーター撤去新設
交換部品
滑車
スライダバー
ワイヤー
ハンドボックス
他一式交換（ビス等）
オリエCO（株）同等品以上
SL80

memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1:50

drawing title
南面排煙窓建具表

project title
白山庁舎アトリウム改修工事

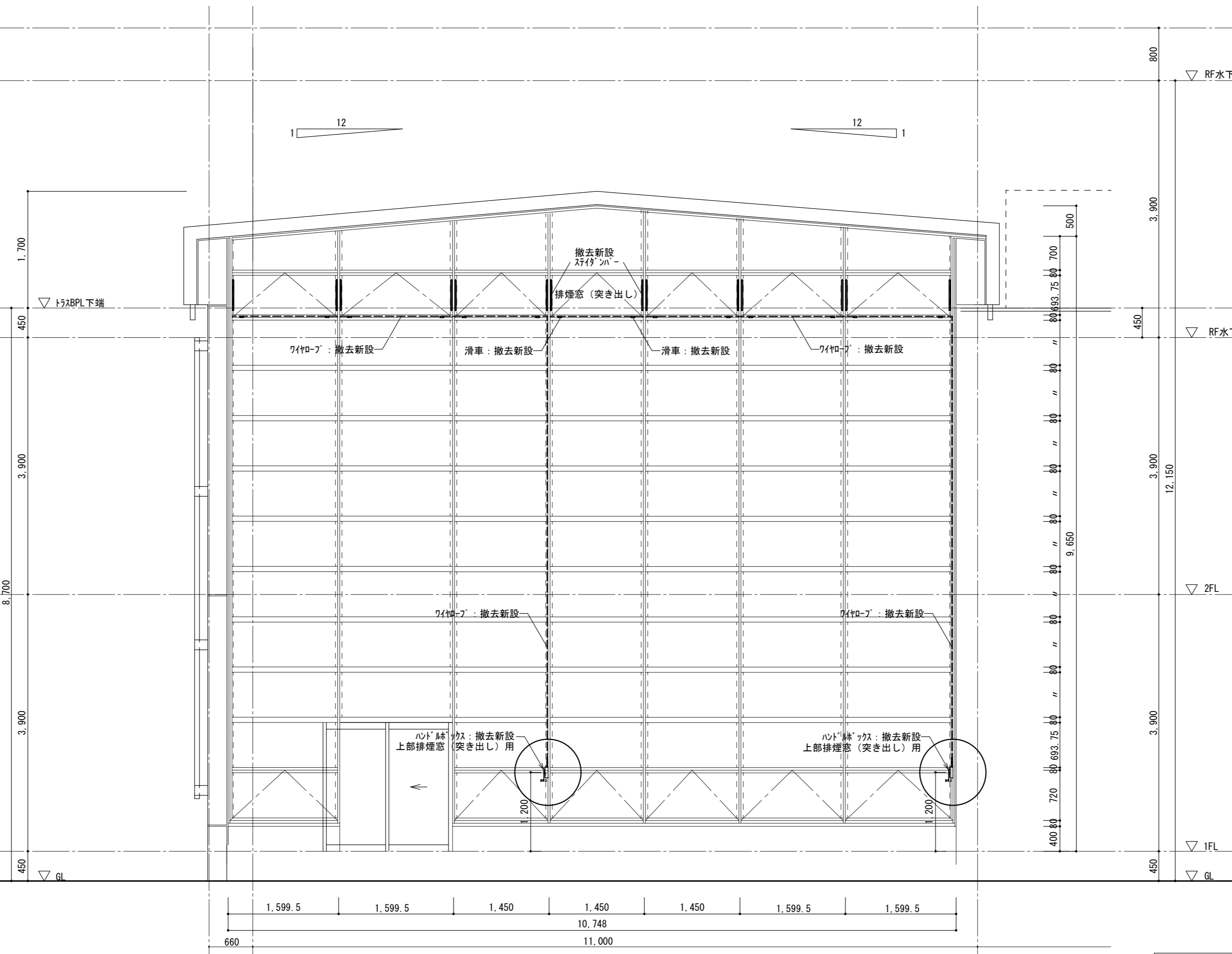
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士：山田 賢治

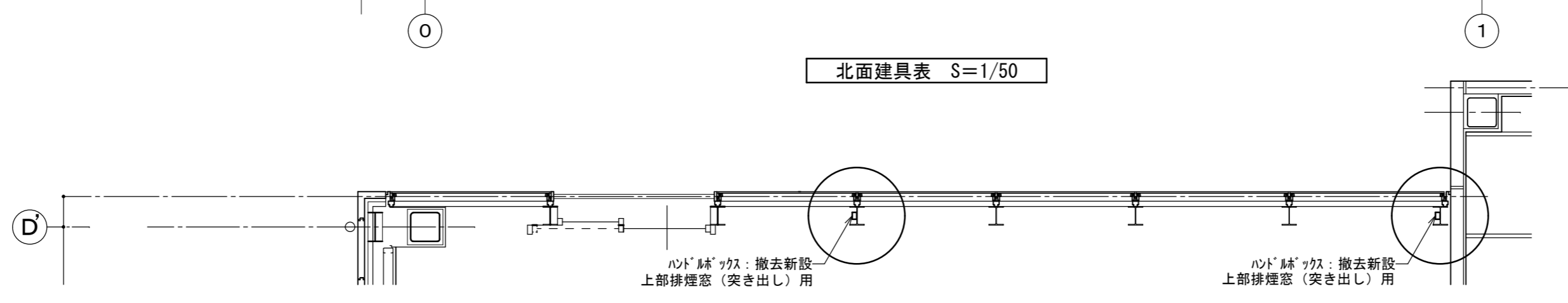
drawing no.

sheet no.

A-19
原図：A2

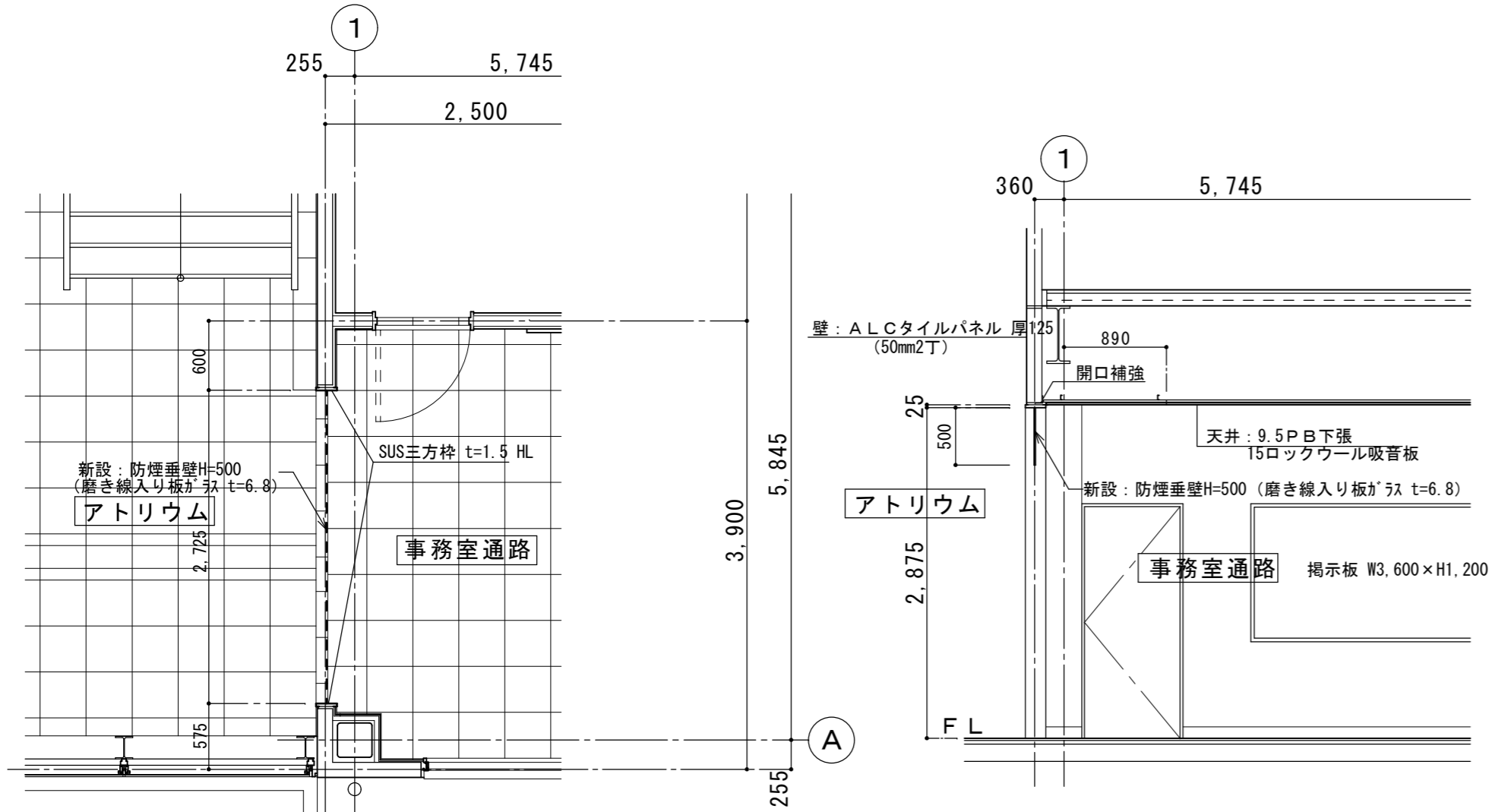


北面建具表 S=1/50



- 排煙窓レター改修工事
 ・排煙窓レター撤去新設
- 交換部品 滑車
 スライダ
 ワイロフ
 ハンド 扉
 他一式交換 (ビス等)
- オリスECO (株) 同等品以上
 SL80

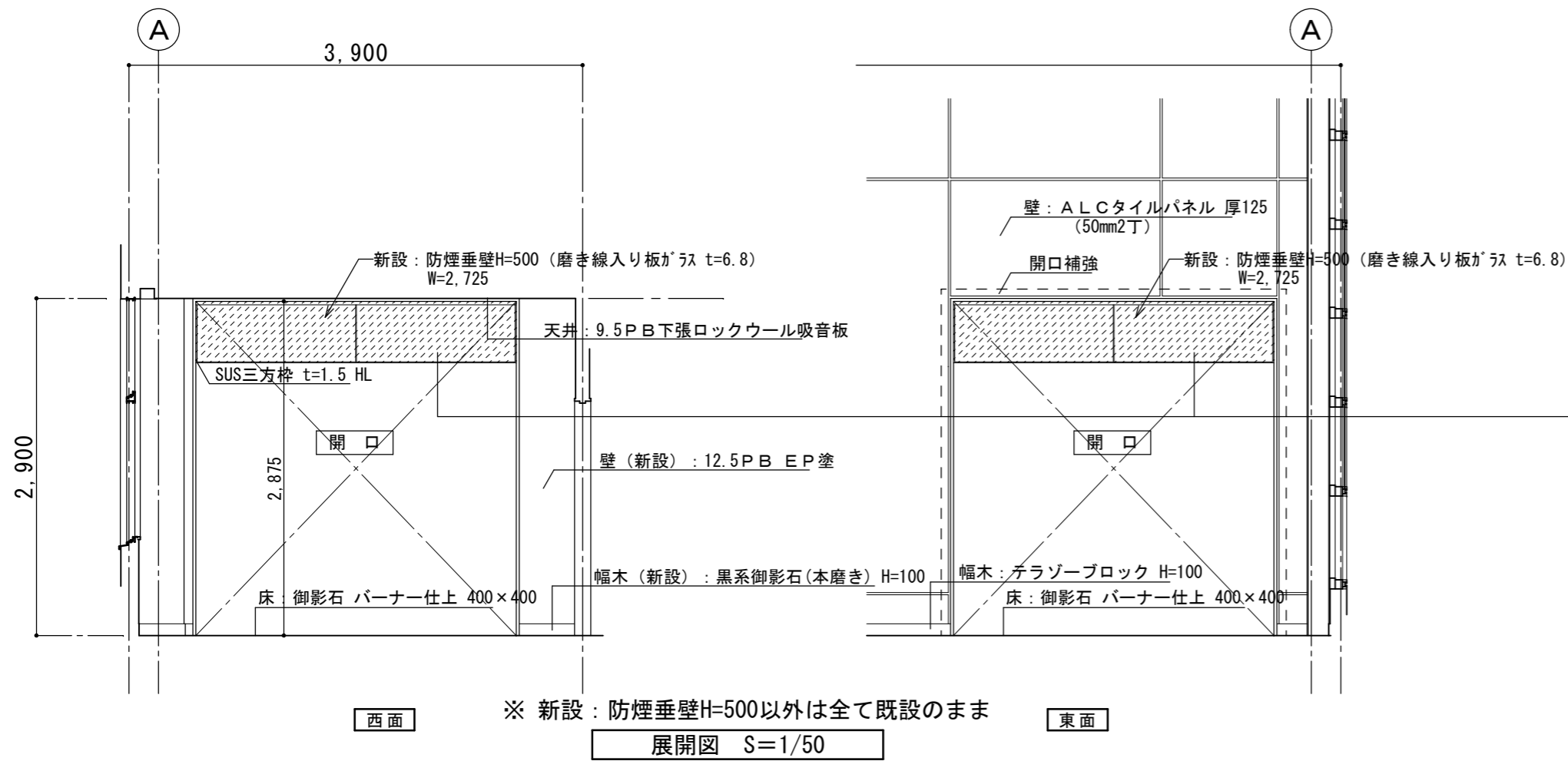
< 事務室入口 >



平面図 S=1/50

断面図 S=1/50

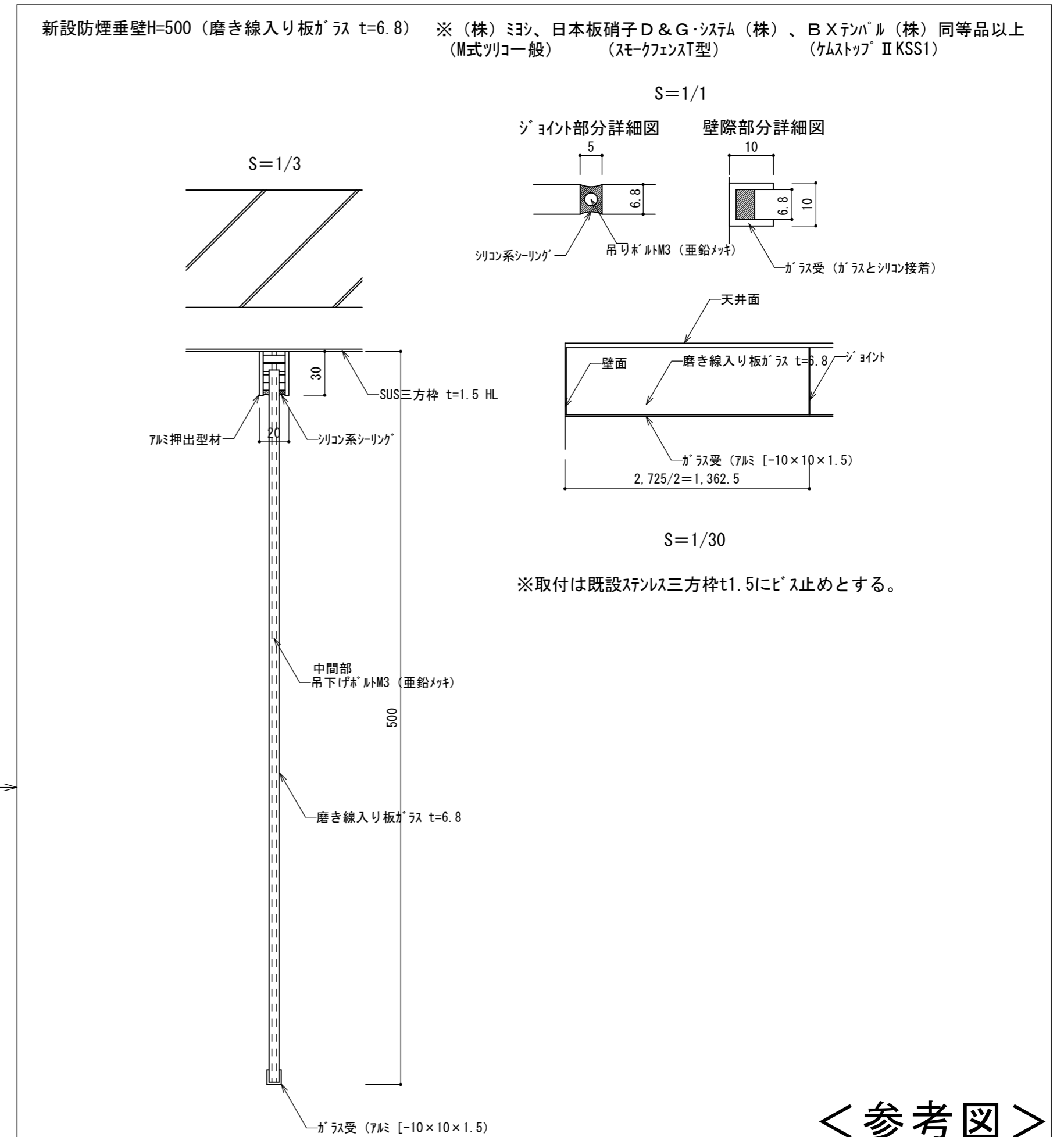
※ 新設防煙垂壁H=500以外は全て既設のまま



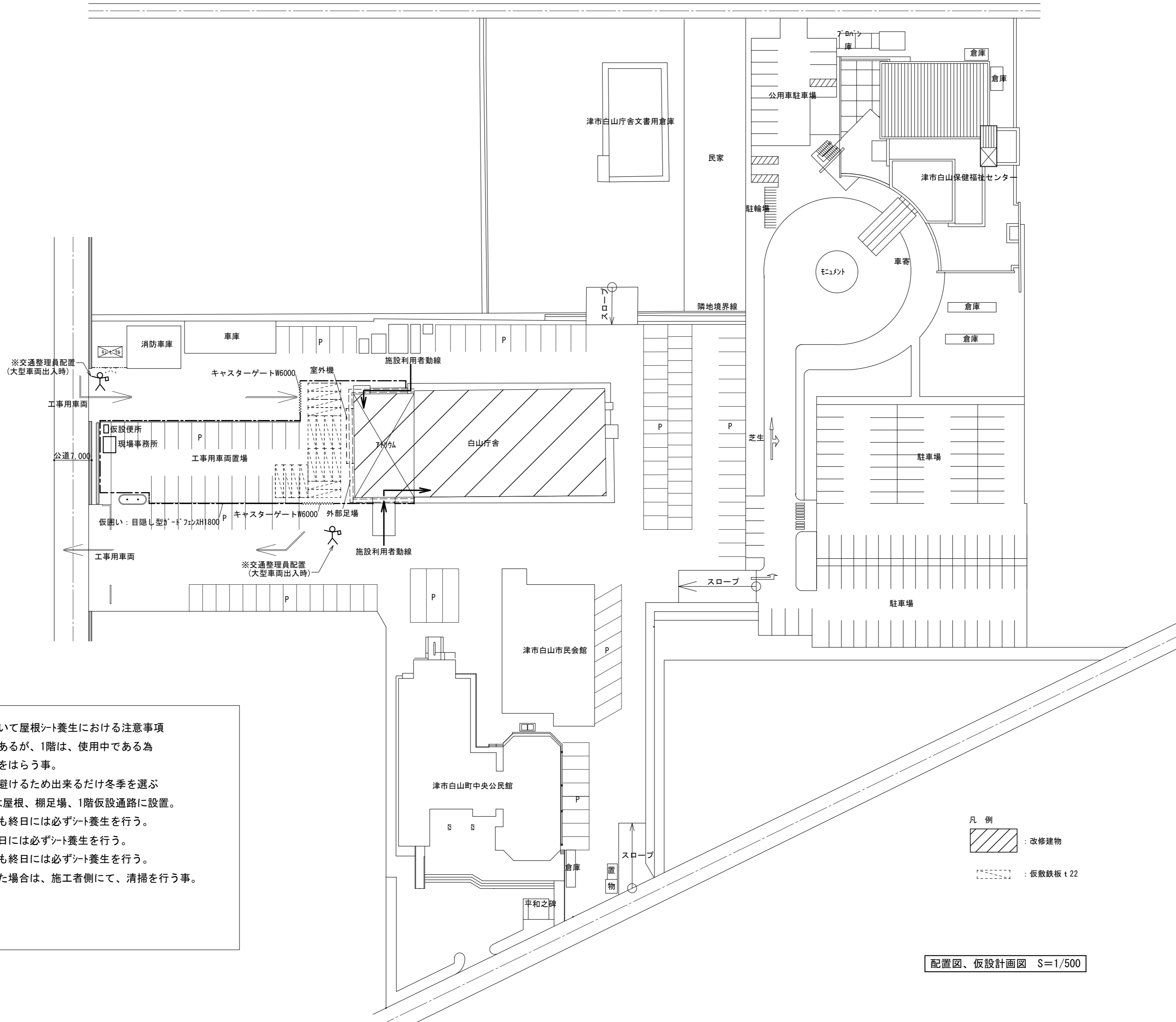
西面

東面

展開図 S=1/50



< 参考図 >



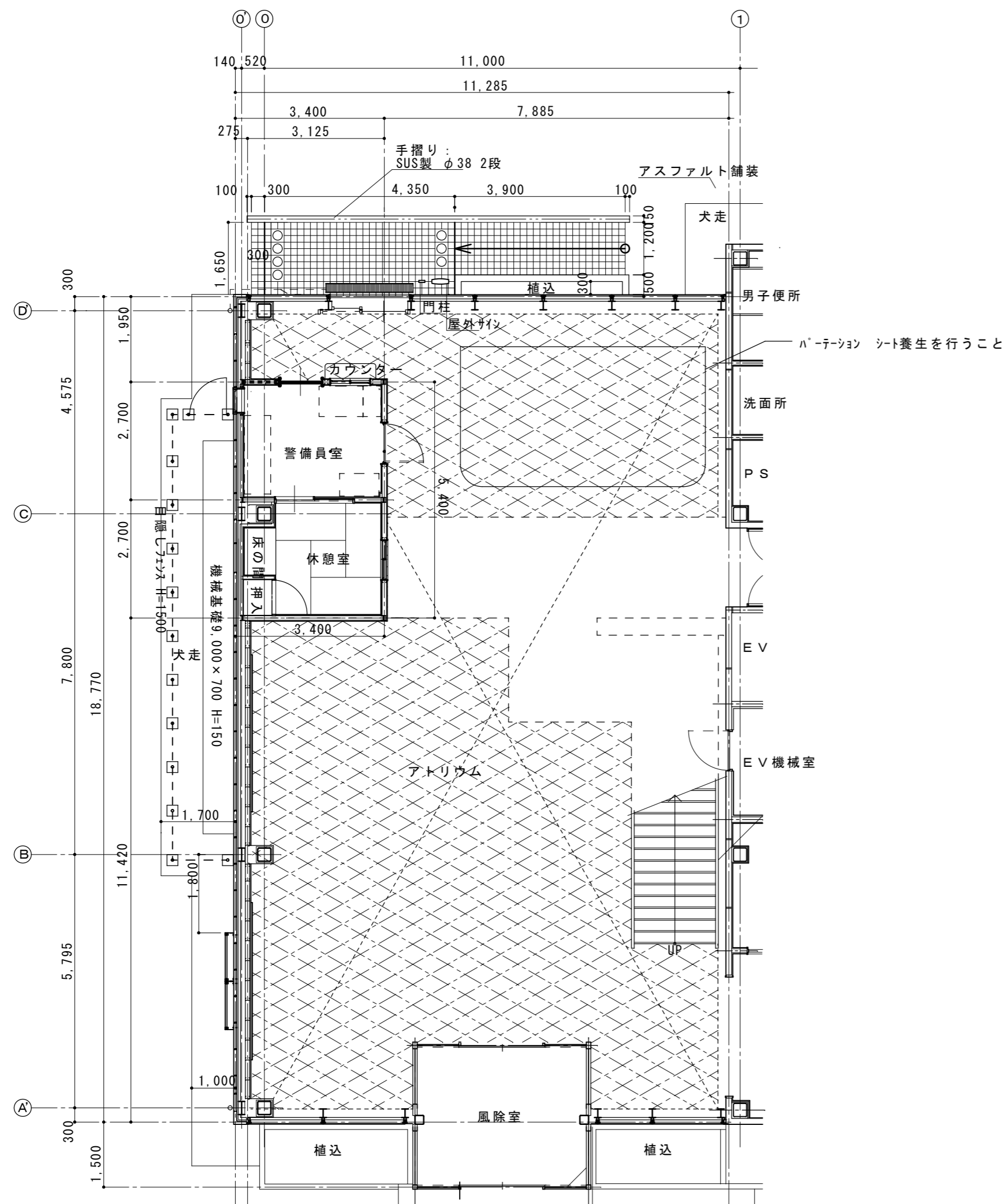
【注】屋根改修工事において屋根シート養生における注意事項
 屋根改修工事中であるが、1階は、使用中である為
 各工種ごとに注意をはらう事。

- ・工事は、降雨を避けるため出来るだけ冬季を選ぶ
- ・雨除けシート養生は屋根、棚足場、1階仮設通路に設置。
- ・既設屋根撤去中も終日には必ずシート養生を行う。
- ・鉄骨工事中も終日には必ずシート養生を行う。
- ・板金屋根工事中も終日には必ずシート養生を行う。


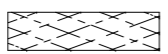
万一漏水が、起きた場合は、施工者側にて、清掃を行う事。

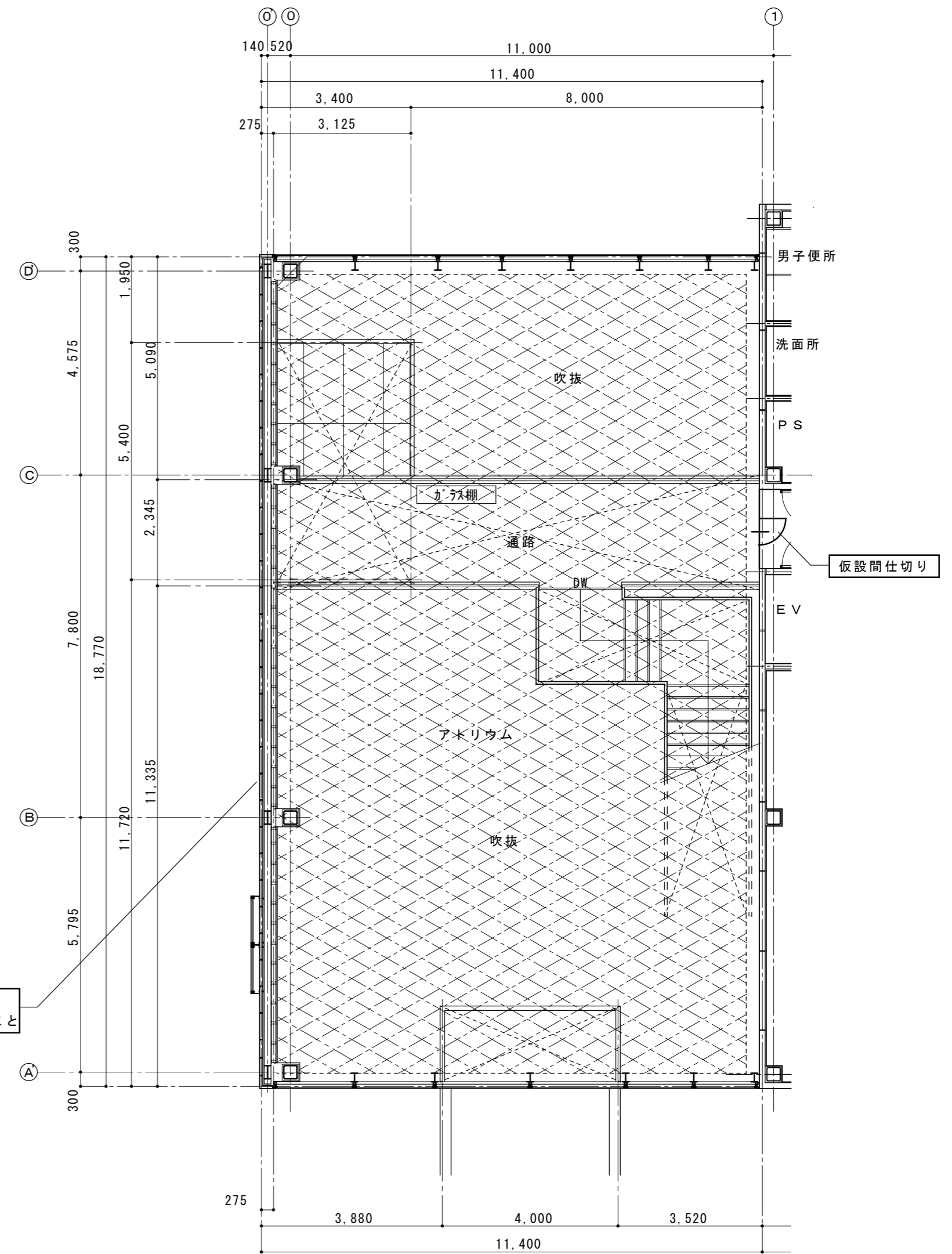
凡例
 [斜線] : 改修建物
 [点線] : 仮敷鉄板 t22

配置図、仮設計画図 S=1/500

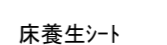
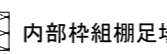


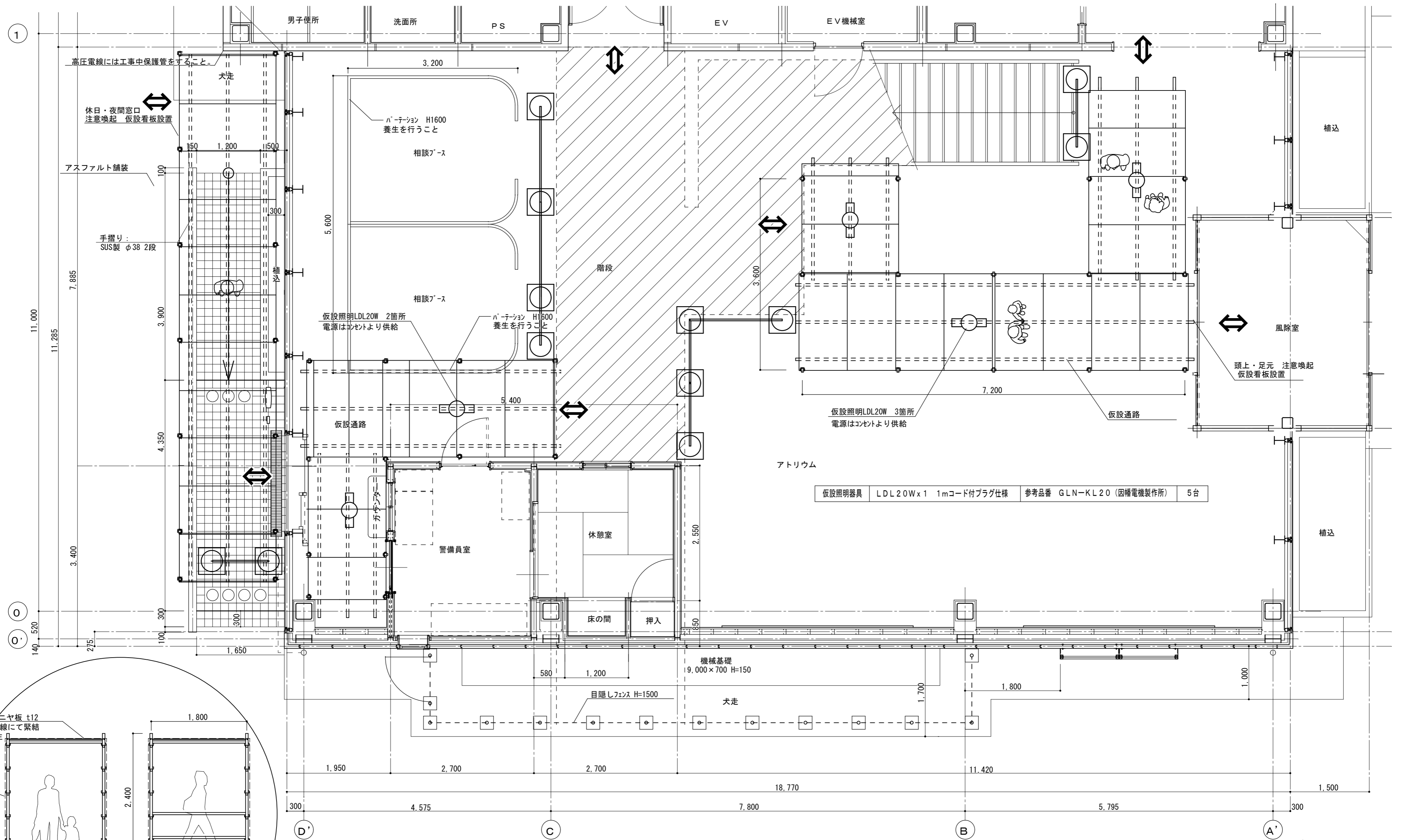
仮設計画1階平面図 S=1/100

凡例 (仮設)
 床養生シート
 内部枠組補足場

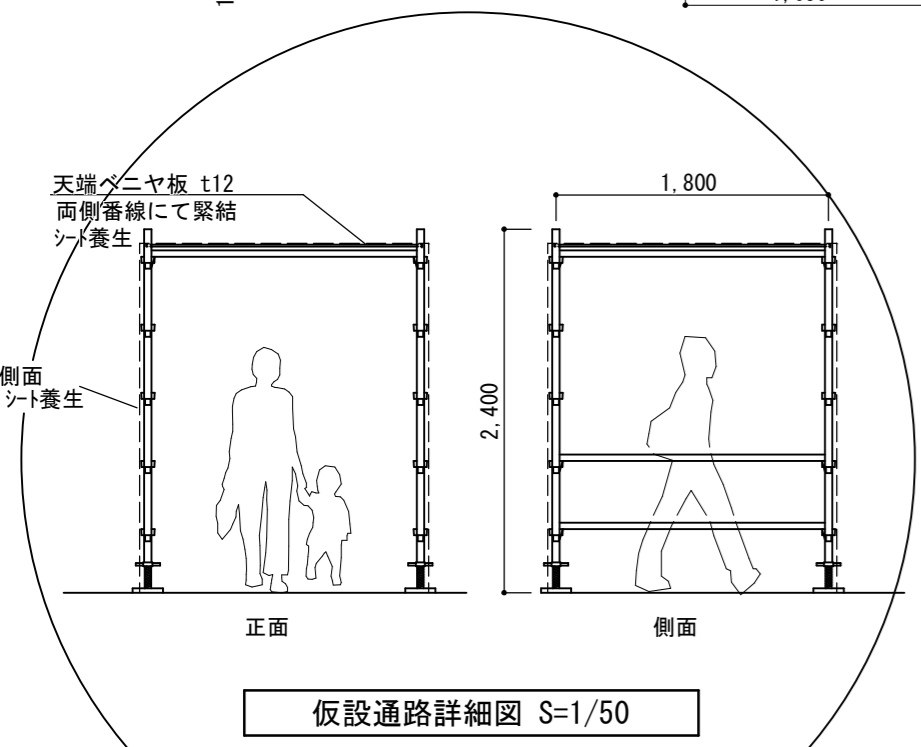


仮設計画2階平面図 S=1/100

凡例 (仮設)
 床養生シート
 内部枠組補足場



仮設照明器具	LDL20W x 1	1mコード付プラグ仕様	参考品番 GLN-KL20 (因幡電機製作所)	5台
--------	------------	-------------	-------------------------	----



仮設通路計画図 S=1/50

